令和6年第4回定例会

美 郷 町 議 会 会 議 録

令和 6年12月 6日 開会

令和 6年12月11日 開会

美 郷 町 議 会

令和6年第4回定例会

美郷町議会会議録(第1号)

令和 6年12月 6日

美 郷 町 議 会

令和6年第4回美郷町議会定例会会議録（第1日目）

令和6年12月6日（金曜日）

◎開会日時 令和6年12月6日 午前10時00分 開会
◎散会日時 令和6年12月6日 午前10時51分 散会

◎出席議員（10名）

1番 若杉 伸児 君	2番 早川 節夫 君
3番 中田 武満 君	4番 兒玉 鋼士 君
5番 山本 文男 君	6番 中嶋奈良雄 君
7番 川村 嘉彦 君	8番 甲斐 秀徳 君
9番 川村 義幸 君	10番 那須 富重 君

◎欠席議員 なし

◎欠員 11番 小路 文喜 君

◎会議録署名議員 2番 早川 節夫 君 3番 中田 武満 君

◎事務局職員氏名 事務局長 沖田 修一 君 書記 川西ゆきみ 君

◎説明のための出席者職氏名

町長 田中 秀俊 君	副町長 藤本 茂 君
教育長 大坪 隆昭 君	会計管理者 泉田 浩文 君
総務課長 甲斐 武彦 君	税務課長 川村 博昭 君
企画情報課長 田村 靖 君	町民生活課長 黒田 和幸 君
健康福祉課長 海野 勝弥 君	建設課長 佐藤 文幸 君
<u>農林振興課長 松下 文治 君欠席</u>	政策推進室長 田常 浩二 君
教育課長 鎌田 次郎 君	地域包括医療局事務長 田原 裕亮 君
南郷地域課長 田中 幸生 君	北郷地域課長 長田 孝規 君

◎会議の経過 別紙のとおり

令和6年第4回美郷町議会定例会
議事日程（第1）

令和6年12月6日
午前10時開議

- 日程第1 会議録署名議員の指名
2番 早川 節夫 議員
3番 中田 武満 議員
- 日程第2 会期の決定
12月6日～12月11日 6日間
- 日程第3 諸般の報告
(1) 議員派遣報告
(2) 請願陳情の処理経過
(3) 例月現金出納検査
(4) 入郷地区衛生組合議会議員
(5) 宮崎県北部広域行政事務組合議員
(6) 日向東臼杵広域連合議会議員
(7) 文教産業常任委員長
- 日程第4 報告 第9号 令和5年度美郷町の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等の提出について
報 告
- 日程第5 同意 第2号 美郷町教育長の任命について
提案理由説明、質疑、討論、採決(投票による方法)
- 日程第6 同意 第3号 美郷町教育委員会委員の任命について
提案理由説明、質疑、討論、採決(投票による方法)
- 日程第7 議案 第78号 工事請負契約の変更について
提案理由説明
- 日程第8 議案 第79号 美郷町一般職の任期付職員の採用等に関する条例
提案理由説明
- 日程第9 議案 第80号 令和6年度美郷町一般会計補正予算（第7号）
提案理由説明
- 日程第10 議案 第81号 令和6年美郷町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）
- 日程第11 議案 第82号 令和6年度美郷町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）
- 日程第12 議案 第83号 令和6年度美郷町国民健康保険診療所事業特別会計補正予算（第2号）
- 日程第13 議案 第84号 令和6年度美郷町国民健康保険病院事業会計補正予算（第3号）
- 日程第14 議案 第85号 令和6年度美郷町簡易水道事業会計補正予算（第2号）
- 日程第15 議案 第86号 令和6年度美郷町農業集落排水事業会計補正予算（第2号）
一括 提案理由説明

- 日程第16 議案 第87号 美郷町議会の議員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例
- 日程第17 議案 第88号 町長等の給料及び旅費に関する条例の一部を改正する条例
- 日程第18 議案 第89号 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- 日程第19 議案 第90号 美郷町第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

一括 提案理由説明

会 議 録

令和6年12月6日
午前10時00分開議

【事務局長 沖田 修一】

「一同起立・礼」・・・おはようございます・・・御着席ください。

【議長 那須 富重】

改めましておはようございます。

令和6年美郷町議会第4回定例会にあたりまして、一言、御挨拶申し上げます。

今年最後の定例会になります。今年を振り返りますと、パリオリンピック・パラリンピック、また大リーグでは日本選手の驚くべき活躍が連日、報じられるなど、明るい話題に私たちも大いに元気づけられました。

一方で、元旦早々に能登半島地震発生により大きな被害が出ました。

本県でも、8月8日に日向灘を震源とする最大震度6弱の地震が発生し、さらに本町では過去の災害についても復旧できていない中で、9月の台風10号により、局地激甚災害に指定されるほどの新たな被害が発生し、町民の生活に大きな影響が出ました。

また、世界情勢の不安定化により物価が高騰し、町民の生活にも影響があったと思います。特に、畜産業において大変深刻な事態に陥っており、速やかな対策が必要な状況であり、また、12月3日に川南町で鳥インフルエンザが発生し、現在、処分が完了しましたが予断を許さない状況です。

そういった中、国では衆議院選挙が実施され、少数与党での第二次石破内閣が発足しました。与野党とも違いを乗り越えて、国民の福祉の向上を第一に取り組んでほしいと切に願うところであります。

美郷町におきましては、人口減対策が待ったなしであります。そのため、令和7年度から5か年の第3期美郷町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定が進められています。本町議会としましても、執行部と力を合わせて様々な課題に取り組んで行く所存であります。

また、本議会でも、町民のための活発な論議をお願いし、開会に当たっての挨拶といたします

ただいまの出席議員は10名であります。

なお、松下文治農林振興課長から、家族の介護のため欠席の申出がありましたので、これを受理しました。

これから、本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付の議事日程表のとおりであります。上着を脱ぎたい方は脱ぐことを許します。

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本定例会の署名議員は、会議規則第127条の規定によって、2番、早川 節夫議員、3番、中田 武満 議員を指名します。

日程第2 会期の決定を議題とします。

この件につきましては、議会運営委員会において検討がなされておりますので、委員長より報告をお願いします。

【議会運営委員長 山本 文男】

議長。

【議長 那須 富重】

議会運営委員長、山本 文男 議員。

【議会運営委員長 山本 文男】

令和6年第4回美郷町議会定例会について、議長より諮問を受けました会期及び日程につきまして、議会運営委員会は以下のように議長に答申しましたので御報告いたします。

会期については、本日から12月11日までの6日間とし、会期日程はお手元に配付してある会期及び審議予定表のとおりとしたところです。

以上で、議会運営委員長の報告を終わります。

【議長 那須 富重】

委員長の報告が終わりました。

お諮りします。

本定例会の会期は委員長の報告のとおり、本日から12月11日までの6日間に行いたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

(「異議なし」との声あり)

異議なしと認めます。

したがって、会期は本日から12月11日までの6日間に決定いたしました。会期中の会議予定につきましては、お手元に配付の会期及び審議の予定表のとおりであります。

日程第3 諸般の報告を行います。

議長報告はお手元に配付の諸般の報告、議員派遣をもって報告とします。

また、本日まで受理いたしました請願・陳情は、お手元に配付いたしました請願・陳情文書表のとおりであります。記載のとおり処理しましたので、御報告いたします。

次に、地方自治法第235条の2第3項の規定により、例月現金出納検査の結果報告書が、お手元に配付したとおり提出されております。

朗読は省略します。

次に、入郷地区衛生組合議会議員、日向東臼杵広域連合議会議員及び宮崎県北部広域行政事務組合議会議員からの会議の報告については、お手元に配付した資料のとおりであります。

次に、所管事務調査の結果について、文教産業常任委員長から報告の申出があります。

文教産業常任委員長の報告を求めます。

【文教産業常任委員長 甲斐 秀徳】

議長。

【議長 那須 富重】

文教産業常任委員長、甲斐 秀徳 議員。

【文教産業常任委員長 甲斐 秀徳】

文教産業常任委員会において調査を実施したので、会議規則第77条の規定により報告します。

調査日 令和6年10月31日 木曜日

調査場所 役場委員会室

調査目的 町の木質バイオマス事業の取組について

調査者 文教産業常任委員、他議員、議会事務局職員

対応者 美郷町バイオマス協議会会長、農林振興課課長、補佐

調査の概要

令和5年度から令和9年度までの美郷町木質バイオマス活用推進計画（以下、推進計画）の実施状況や今後の取組計画及び美郷町バイオマス協議会の取組状況と今後の計画について説明を受けた。

（考察）

町は、未利用林地残材を活用し、新たな林業需要創出やカーボンニュートラル資源による脱炭素化を目的として、令和4年度に美郷町未利用木質バイオマスを活用した熱電供給事業可能性調査や推進計画作成の委託に990万円、美郷町未利用木質バイオマス活用事業検討調査を令和5年度は250万円で委託、令和6年度も480万円で委託契約をしているので、バイオマス事業調査等の委託料は令和6年度までで総額1,720万円の見込みである。

推進計画の5つの達成目標の取組は、委託によるチップ化の実証試験及びコスト評価は行われているが、その他は検討中であるため、達成目標の実現に向けた実施時期や運営主体等の具体的な説明はなかった。

また、達成目標の中で、町有施設のバイオマスボイラー導入・稼働があり、令和4年度にレイクランド西郷の導入調査を行い、その後、指定管理者の変更によって令和5年度に再調査を行っているが、導入は行わないとの説明であった。

しかし、何時、どのような協議がなされ、どういった理由により、その結論に至ったのか具体的説明がなかった。

その他、委員からの質疑で、チップの事業化は確定しているとの答弁であったが、事業化するのに重要な運営主体が決まっていなかった。このことから、木質バイオマス事業の調査や推進計画作成の委託をしているが、推進計画作成時からこれまで、達成目標について協議・検討が行われていないようであり、現時点では事業化が見込まれていない。

以上のことから、この事業については多額の費用をかけて委託しているものの、一旦、立ち止まる必要がある。そして、町が調査をして、町で作成した推進計画であるので、町は関係者としっかりと協議をして、この事業を今後どうしていくのか、方向性を示すこと。

また、推進計画の中で、美郷町森づくり推進計画の策定も掲げているので、同様に協議を行うこと。

最後に、今後このような事業を行う場合は事前に実施可能であるか、そして、目的が達成できるのか、しっかりと議論してから必要な費用をかけるべきである。

以上で、報告を終わります

【議長 那須 富重】

以上で、諸般の報告を終わります。

日程第4 報告第9号 令和5年度美郷町の教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価等の提出について

町長からの報告があります。

これを許します。

【町長 田中 秀俊】

議長。

【議長 那須 富重】

町長。

【町長 田中 秀俊】

おはようございます。今日から11日の会期で第4回の議会定例会ということでございます。よろしくお願いいたします。

それでは、報告第9号 令和5年度美郷町の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等について報告を申し上げます。

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項に規定されております。

そこに、「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表しなければならない」とされていることから、ここに報告するものでございます。

点検・評価対象でございます。

- ①教育委員会の活動としまして1事業
- ②学校教育の充実としまして9事業
- ③家庭教育の振興としまして3事業
- ④社会教育の振興、生涯学習の充実としまして3事業
- ⑤健康の増進と生涯スポーツの振興としまして2事業
- ⑥文化の高揚としまして2事業

以上がございました。

その各項目と事務事業につきまして、町教育委員会において自己評価を行い、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定にあります「教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図る」ということから、国立大学法人宮崎大学教育学部准教授であられる遠藤宏美氏の御意見をいただいたところでございます。

以上で、報告を終わります。

【議長 那須 富重】

以上で、報告を終わります。

日程第5 同意第2号 美郷町教育長の任命についてを議題とします。

ここで、地方自治法第117条の規定によって、大坪 隆昭 教育長の退場を求めます。

(教育長 退場)

【議長 那須 富重】

ただいま議題となっております同意第2号について、町長より提案理由の説明を求めます。

【町長 田中 秀俊】

議長。

【議長 那須 富重】

町長。

【町長 田中 秀俊】

それでは、同意第2号 美郷町教育長の任命について提案理由を申し上げます。

本案は、現教育長である大坪隆昭氏の任期が令和7年2月20日をもって満了となるため、再度、任命したく、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2項に基づき議会の同意を求めるものであります。

大坪氏におかれましては、今後も美郷町の教育長として長年培った教育行政の豊富な経験を生かしながら、リーダーシップを取っていただける人材として高い見識を有していると認められることから、引き続き、教育長として任命したいので、御審議の上、御同意いただきますようお願い申し上げます。

なお、任期は、令和7年2月21日から令和10年2月20日までの3年間となります。

以上で説明を終わります。よろしくお願ひいたします。

【議長 那須 富重】

提案理由の説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑を許します。

質疑はありませんか。

(「なし」との声あり)

質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

これから、討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」との声あり)

討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから、同意第2号 美郷町教育長の任命について、採決します。

この採決は、会議規則第82条第1項の規定及び申合せにより、無記名投票で行います。

議場の出入口を閉めます。

(議場の出入口を閉める)

ただいまの出席議員数は、9名であります。

表決の方法としての「投票」ですので、議長を除く9名で投票を行うこととなります。

次に、立会人を指名します。

会議規則第32条第2項の規定により、立会人、4番 兒玉鋼士 議員、5番 山本文男 議員を指名します。

投票用紙を配ります。

念のため申し上げます。

本案に賛成の方は「賛成」と、反対の方は「反対」と記載願います。

また、会議規則第84条の規定「白票の取扱い」にありますように、「賛否を表明しない投票」及び「賛否が明らかでない投票」は、「否」として取り扱いますので、申し添えます。

投票用紙を配付してください。

(投票用紙の配付)

投票用紙の配布漏れは、ありませんか。

(「なし」との声あり)

配付漏れなしと認めます。

投票箱を点検します。

(投票箱の点検)

異常なしと認めます。

ただいまから、投票を行います。

1番議員から議席順に投票願います。

(投票)

投票漏れはありますか。

(「なし」との声あり)

「投票漏れなし」と認めます。

これで、投票を終わります。

開票を行います。

4番、兒玉 鋼士 議員、5番、山本 文男 議員、開票の立会をお願いします。

(開票)

投票の結果を報告します。

投票総数9票、有効投票9票、有効投票のうち賛成7票、反対2票。

以上のとおり、賛成多数です。

したがいまして、同意第2号 美郷町教育長の任命について、原案のとおり同意することに決定しました。

議場の出入口を開きます。

(議場の出入口を開ける)

ここで、大坪 隆昭 教育長の入場を許します。

(教育長の入場・着席)

日程第6 同意第3号 美郷町教育委員会委員の任命についてを議題とします。

ただいま議題となっています同意第3号について、町長より提案理由の説明を求めます。

【町長 田中 秀俊】

議長。

【議長 那須 富重】

町長。

【町長 田中 秀俊】

同意第3号 美郷町教育委員会委員の任命について提案理由を申し上げます。

本案は、令和7年2月をもって任期満了を迎える教育委員について、引き続き、瓶田哲朗氏を任命したいので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律 第4条第2項の規定に基づき、議会の同意を求めるものであります。

瓶田哲朗氏は、令和3年2月から教育委員会委員を務められております。社会教育主事の資格を有し社会教育の専門職員として勤務した経歴もあり、美郷町役場においても教育課長を任命されるなど、教育行政に精通した方でございます。

このことから、教育委員として適任であると考えるところでありますので、教育委員会委員として任命したいので、御審議の上、御同意いただきますようお願い申し上げます。

なお、任命後の任期は令和11年2月までの4年間となります。

以上で説明を終わります。よろしくお願いいたします。

【議長 那須 富重】

提案理由の説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑を許します。

質疑はありませんか。

(「なし」との声あり)

質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

これから、討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」との声あり)

討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから、同意第3号 美郷町教育委員会委員の任命について採決を行います。

この採決は、会議規則第82条第1項の規定及び申合せにより、無記名投票で行います。

議場の出入口を閉めます。

(議場の出入口を閉める)

ただいまの出席議員数は9名であります。

表決の方法としての「投票」ですので、議長を除く9名で投票を行うこととなります。

次に、立会人を指名します。

会議規則第32条第2項の規定により、立会人、6番、中嶋 奈良雄 議員、7番、川村 嘉彦 議員を指名します。

投票用紙を配ります。

念のため申し上げます。

本案に賛成の方は「賛成」と、反対の方は「反対」と記載願います。

また、会議規則第84条の規定「白票の取扱い」にありますように、「賛否を表明しない投票」及び「賛否が明らかでない投票」は、「否」として取り扱いますので、申し添えます。

投票用紙を配付してください。

(投票用紙の配付)

投票用紙の配付漏れは、ありませんか。

(「なし」との声あり)

配付漏れなしと認めます。

投票箱を点検します。

(投票箱の点検)

異常なしと認めます。

ただいまから、投票を行います。

1番議員から議席順に投票願います。

(投 票)

投票漏れはありますか。

(「なし」との声あり)

投票漏れなしと認めます。
これで、投票を終わります。
開票を行います。

6番、中嶋 奈良雄 議員、7番、川村 嘉彦 議員、開票の立会をお願いします。

(開 票)

投票の結果を報告します。
投票総数9票、有効投票9票、有効投票のうち賛成5票、反対4票。
以上のおり、賛成多数です。
したがいまして、同意第3号 美郷町教育委員会委員の任命について、原案のとおり同意することに決定しました。
日程第7 議案第78号 工事請負契約の変更についてを議題とします。
本案について、町長より提案理由の説明を求めます。

【町長 田中 秀俊】

議長。

【議長 那須 富重】

町長。

【町長 田中 秀俊】

議案第78号 工事請負契約の変更についての提案理由を申し上げます。
この契約は、令和5年6月8日に株式会社橋口組と契約を締結した令和5年度4年災(台風14号4号箇所)奥地林道鳥の巢線災害復旧工事の変更契約であります。
主な変更理由としましては、路側部の大型ブロック積工を施工中、大雨等によって上部のり面が拡大崩壊したため、崩土除去及びのり面部の安定性を確保したいことから、のり面保護工の再選定を精査し、国へ計画概要の重要変更協議を行い、土質、土壌硬度を考慮し、現場条件にあった工種、植生基材吹付工・現場吹付のり砕工(砕内モルタル吹付工・砕内植生基材吹付工)に変更するため、工事請負代金2,992万1,807円を増額するものであります。
以上、今回の契約について、地方自治法第96条第1項第5号、及び美郷町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例第2条の規定により、議会の議決を求めるものであります。
以上です。

【議長 那須 富重】

町長の提案理由の説明が終わりました。
この件につきましては、第6日目の12月11日に質疑・討論・採決を行います。
日程第8 議案第79号 美郷町一般職の任期付職員の採用等に関する条例を議題とします。
本案について、町長より提案理由の説明を求めます。

【町長 田中 秀俊】

議長。

【議長 那須 富重】

町長。

【町長 田中 秀俊】

議案第79号 美郷町一般職の任期付職員の採用等に関する条例について提案理由を申し上げます。

地方公共団体の行政の高度化及び専門化の進展に伴い、専門的な知識経験または優れた識見を有する者の採用を円滑化を図ることを目的に、地方公共団体の一般職の任期付職員の採用に関する法律が制定されております。

本町においても、この法律に基づく制度を導入するため、提案するものであります。

以上で、説明を終わります。

【議長 那須 富重】

町長の提案理由の説明が終わりました。

この件につきましては、第6日目の12月11日に質疑・討論・採決を行います。

日程第9 議案第80号 令和6年度美郷町一般会計補正予算（第7号）を議題とします。

本案について、町長より提案理由の説明を求めます。

【町長 田中 秀俊】

議長。

【議長 那須 富重】

町長。

【町長 田中 秀俊】

議案第80号 令和6年度美郷町一般会計補正予算（第7号）について、説明いたします。

今回の補正は、人事院勧告に伴う人件費の追加や台風10号災害対応に伴う経費などの早急に予算措置の必要が生じた事項に係る経費を計上するものであります。

補正の主な内容としましては、人事院勧告に伴い各種人件費に3,244万9,000円を追加しました。

災害対応経費としまして、林業費治山対策事業費の林地崩壊対策事業費を2,800万円追加しまして、災害復旧費へ総額3億5,000円を追加しました。

また、西郷和田地区のかさ上げ事業に伴う仮設住宅建設経費としまして4,690万円を追加しました。

これらにより、歳入歳出予算の総額に、それぞれ4億5,047万円を追加し、一般会計の総額は、それぞれ119億7,333万9,000円となりました。

以上で、説明を終わります。

【議長 那須 富重】

町長の提案理由の説明が終わりました。

- この件につきましては、第6日目の12月11日に質疑・討論・採決を行います。
日程第10	議案第81号	令和6年度美郷町国民健康保険事業特別会計
補正予算（第3号）
日程第11	議案第82号	令和6年度美郷町介護保険事業特別会計
補正予算（第2号）
日程第12	議案第83号	令和6年度美郷町国民健康保険診療所事業特別会計
補正予算（第2号）
日程第13	議案第84号	令和6年度美郷町国民健康保険病院事業会計
補正予算（第3号）
日程第14	議案第85号	令和6年度美郷町簡易水道事業会計
補正予算（第2号）
日程第15	議案第86号	令和6年度美郷町農業集落排水事業会計
補正予算（第2号）

お諮りします。

議案第81号から議案第86号までの6件を、一括議題にしたいと思いますが、これに御異議ございませんか

（ 「異議なし」との声あり ）

異議なしと認めます。

したがって、議案第81号から議案第86号までの6件は一括議題とすることに決定しました。

6件につきまして、順次、町長より提案理由の説明を求めます。

【町長 田中 秀俊】

議長。

【議長 那須 富重】

町長。

【町長 田中 秀俊】

議案第81号 令和6年度美郷町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）について、提案理由を申し上げます。

今回の補正は、歳入歳出からそれぞれ22万3,000円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ9億7,047万8,000円とするものであります。

主な要因は、システム改修及び加入者情報等発送準備にかかる委託料の減、人事院勧告による人件費の増によるものです。

まず、歳入予算につきましては、歳出予算の減により県補助金の対象となる保険給付費等補助金を21万6,000円の減額、また、繰入金7,000円の減額予算を計上しております。

続いて、歳出予算です。

まず、総務費の一般管理費として47万5,000円の減額、医療費通知処理委託手数料として4万2,000円、会計年度任用職員の人件費として21万円の追加予算をそれぞれ計上しております。

以上で、説明を終わります。

続きまして、議案第82号 令和6年度美郷町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)について提案理由を申し上げます。

今回の補正は、歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ2,601万4,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ11億1,720万4,000円とするものです。

今回の補正の主な内容は、令和6年度保険給付費における各サービスの歳出状況を踏まえて歳入歳出見込みにより過不足を調整するものです。

まず、歳入です。

令和6年度国庫支出金の交付決定に伴い1,769万5,000円を減額するほか、支払基金交付金について3,996万9,000円を増額いたします。

また、一般会計繰入金においても低所得者保険料軽減負担金の交付決定と事務費繰入れにより892万1,000円を増額いたします。

続いて、歳出です。

介護給付費の各サービス費の過不足を調整しました。また、歳入の説明で申し上げた増額分については、今後の給付費支払いに備え、予備費として2,518万3,000円を増額いたします。

以上で、説明を終わります。

続きまして、議案第83号 令和6年度美郷町国民健康保険診療所事業特別会計補正予算(第2号)についての提案理由を申し上げます。

今回の補正は、予算の総額の変更はなく歳出予算の組替えを行うものであります。

人事院勧告に伴う給料改定による一般職員及び会計年度任用職員の給与、職員手当、共済費等587万9,000円を増額するものです。また、年度末までの需用費の不足が見込まれる26万8,000円を増額を行うものであり、予備費を減額し、それぞれに充用するものであります。

以上で、説明を終わります。

続きまして、議案第84号 令和6年度美郷町国民健康保険病院事業会計補正予算(第3号)についての提案理由を申し上げます。

今回の補正予算は、収益的収入においては介護保険サービス事業収益の増額を計上しており、収益的支出においては、給与費の減額補正、材料費・経費等の増額補正を計上しております。

支出の主な内容につきましては、人事院勧告や異動等に伴う給与費の支出見込みによって増額・減額を行い、給与費全体で117万8,000円の減額予算を計上しております。また、入院患者の増加などにより、薬品や診療材料・給食材料などの材料費501万9,000円を計上しております。

経費においては、非常勤医師の報償費支給見込みに合わせて546万8,000円を減額、光熱水費・賃借料・委託料などの支出見込みに合わせて331万9,000円を増額補正計上しております。

以上で、説明を終わります。

続きまして、議案第85号 令和6年度美郷町簡易水道事業会計補正予算(第2号)について、提案理由を申し上げます。

今回の補正は、資本的収入に355万3,000円、資本的支出に355万3,000円の増額補正し、資本的収入予算の総額を3,965万4,000円、資本的支出予算の総額を8,635万4,000円とするものであります。

内容につきましては、建設改良費の工事請負費2件分で老朽化による浄水場の設備更新になります。

以上で、説明を終わります。

最後であります。議案第86号 令和6年度美郷町農業集落排水事業会計補正予算（第2号）について、提案理由を申し上げます。

今回の補正は、資本的収入に3,444万8,000円の増額補正を行い、資本的収入予算の総額を4,988万7,000円とするものです。

内容につきましては、令和4年災復旧事業補助金の歳入であります。

以上で、説明を終わります。

【議長 那須 富重】

町長の提案理由の説明が終わりました。

この件につきましては、第6日目の12月11日に質疑・討論・採決を行います。

日程第16 議案第87号 美郷町議会の議員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例

日程第17 議案第88号 町長等の給料及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

日程第18 議案第89号 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

日程第19 議案第90号 美郷町第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

お諮りします。

議案第87号から議案第90号までの4件を、一括議題にしたいと思いますが、これに御異議ございませんか

(「異議なし」との声あり)

異議なしと認めます。

したがって、議案第87号から議案第90号までの4件は一括議題とすることに決定しました。

4件につきましては、順次、町長より提案理由の説明を求めます。

【町長 田中 秀俊】

議長。

【議長 那須 富重】

町長。

【町長 田中 秀俊】

議案第87号 美郷町議会の議員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例

議案第88号 町長等の給料及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

議案第89号 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

議案第90号 美郷町第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

以上4件につきましては、関連がございますので、一括して提案理由を申し上げます。

まず、美郷町議会の議員及び町長、副町長、教育長の期末手当につきましては、特別職の職員の給与に関する法律の一部を改正する法律に基づいて改定を行うものであります。6月と12月の支給割合を1.7月から1.725月に改定します。これにより、期末手当の年間総支給月数は3.4月分から3.45月分となります。

本年は、6月に1.7月分を支給していますので、12月の支給割合を1.75か月分として、年間総支給月額を3.45月分とするものであります。

次に、一般職及び第1号会計年度任用職員についてですが、今回は人事院勧告を踏まえ、給料表、期末手当及び勤勉手当の引上げについて改正するものです。

給料表につきましては、官民給与の格差を踏まえ、初任給をはじめ若年層に重点を置きつつ平均3.0%引き上げられました。

また、期末手当と勤勉手当につきましては、民間の支給状況を反映して0.1月分引き上げることとし、これにより、年間の支給月数は4.5月分から4.6月分となります。

本年12月期の期末手当及び勤勉手当をそれぞれ0.05月分引上げ、令和7年度以降は6月期と12月期の期末手当及び勤勉手当をそれぞれ0.025月分引き上げることになりましたので、本町も同様の改定を行うものであります。

なお、本年度はこのほかに「社会と公務の変化に応じた給与制度の整備」について勧告されました。

内容につきましては、職務と職責に応じた給与上昇を確保するとともに、民間人材等の職を確保する観点から、給料表の3級から6級までの初号付近の号給のカットなどが行われる給料表の見直し。扶養手当、通勤手当、管理職特別勤務手当などが見直され、令和7年4月から実施されることになりました。

令和7年4月からの実施に係る条例改正につきましては、令和7年第1回定例会で議案を上程する予定であります。

以上で、説明を終わります

【議長 那須 富重】

町長の提案理由の説明が終わりました。

この件につきましては、第6日目の12月11日に質疑・討論・採決を行います。以上で、本日の日程は全部、終了しました。

次は、12月9日月曜日、定刻午前10時に本会議を開きます。時間をお間違いないようお願いいたします。

本日は、これにて散会いたします。

【事務局長 沖田 修一】

「一同・起立・礼」・・・お疲れさまでした・・・。

(閉会：午前10時51分)

令和6年第4回定例会

美郷町議会会議録(第2号)

令和 6年12月 9日

美 郷 町 議 会

令和6年第4回美郷町議会定例会会議録（第2日目）

令和6年12月9日（月曜日）

◎開会日時 令和6年12月9日 午前10時00分 開会
◎散会日時 令和6年12月9日 午後12時02分 散会

◎出席議員（10名）

1番	若杉	伸児	君	2番	早川	節夫	君
3番	中田	武満	君	4番	兒玉	鋼士	君
5番	山本	文男	君	6番	中嶋	奈良雄	君
7番	川村	嘉彦	君	8番	甲斐	秀徳	君
9番	川村	義幸	君	10番	那須	富重	君

◎欠席議員 なし

◎欠員 11番 小路 文喜 君

◎事務局職員氏名 事務局長 沖田 修一 君 書記 川西ゆきみ 君

◎説明のための出席者職氏名

町長	田中	秀俊	君	副町長	藤本	茂	君
教育長	大坪	隆昭	君	会計管理者	泉田	浩文	君
総務課長	甲斐	武彦	君	税務課長	川村	博昭	君
企画情報課長	田村	靖	君	町民生活課長	黒田	和幸	君
健康福祉課長	海野	勝弥	君	建設課長	佐藤	文幸	君
農林振興課長	松下	文治	君	政策推進室長	田常	浩二	君
教育課長	鎌田	次郎	君	地域包括医療局事務長	田原	裕亮	君
南郷地域課長	田中	幸生	君	北郷地域課長	長田	孝規	君

◎会議の経過 別紙のとおり

令和6年第4回美郷町議会定例会 議事日程（第2）

令和6年12月9日
午前10時開議

日程第1 一般質問

5番 山本 文男 議員

1. 町民への説明責任について
2. 住民独自の災害復旧工事について
3. 伝統芸能保存事業について

2番 早川 節夫 議員

1. 児童福祉及び教育の充実について
2. 補聴器購入時の補助について

4番 兒玉 鋼士 議員

1. 町の大規模保安林推進事業について
2. 地籍調査事業と実測課税以降について
3. 主要道路の維持管理について

会 議 録

令和6年12月9日
午前10時00分開議

【事務局長 沖田 修一】

「一同起立・礼」おはようございます。御着席ください。

【議長 那須 富重】

改めまして、おはようございます。

本日は、一般質問であります。

美郷北義務教育学校の9年生の皆さんが傍聴においでをいただいております。お礼を申し上げます。子ども議会も経験することがあるかも分かりませんが、そのときの参考にさせていただければと思っております。

今日は傍聴に来ていただいておりますが、議員の皆さん、それから執行部の皆さんとともに活発な議論を、それから答弁をお願いしたいと思います。ぜひよいお手本となるようお願いするところであります。よろしく申し上げます。

これから本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付の議事日程表のとおりであります。

広報用の写真撮影の申出がありましたので、これを許可しました。上着を脱ぎたい方は脱ぐことを許します。

【議長 那須 富重】

日程第1 一般質問です。

今回、一般質問の通告のありました議員は5名であります。

本日は、3名の一般質問を行い、残りの2名は明日、一般質問を行います。

通告順に一般質問を行います。

通告順に質問を許します。

5番、山本 文男 議員の登壇を許し、1問目の発言を許可します。

【5番 山本 文男】

議長。

【議長 那須 富重】

5番、山本 文男 議員。

【5番 山本 文男】

義務教育学校の生徒の皆さんにおかれましては、昨年に引き続いての傍聴ありがとうございます。

地方自治や議会の仕組みについては十分、勉強されていることと思いますが、簡単に説明させていただきます。

この議場は美郷町をよりよい町にするため話し合うところです。町議会は年4回、決まった時期に開く定例会と必要なときに開く臨時会があります。定例会は、3月、6月、9月、12月に開催されます。それぞれ選挙で選ばれた議員と町長ですが、町議会では、町長が計画した事業やお金の使い方、予算、町の決まり、条例などに

ついて議員と町長をトップとする執行部が意見を出し合い話し合っ決めていきます。

本日と明日の一般質問では、議員は自分の考えや町民の意見などを町民の代表として町長そして教育長に質問していきます。

もし、皆さんが何か美郷町がよくなるようなアイデアを思いついたとき、連絡を取れば町長は喜んで話を聞いてくれると思います。

それでは、町民への説明責任についての質問をしまります。

本年9月、西郷下区から集落機能の維持を求めることについての請願が提出されました。

請願の内容を検討するにあたって、区の役員と「ちくせん」実行委員会の方々が住民説明会を行い、住民の生の声を丁寧に拾い集められたようです。自分たちの住む区が消滅してしまうという強い危機感を原動力に、要望書や請願書の提出に頑張っこられた下区の皆様の御努力には頭が下がります。そして、その生の声をまとめた資料には、水道の整備や災害によって失われた道路、農業用水などのインフラ復旧を望む声が多く見られました。

また不満として、「工事についての説明がない」また「工事が突然、始まって困る」といった意見が多く集落で上がり、区と「ちくせん」実行委員会はこれをとて重く受け止めておられました。

11月16日の下区での町政懇談会には私も出席させていただきました。集まった住民の皆様もようやく説明を受け、復旧整備の見通しを知ることができ、まだまだ不便な生活は続きますが、何とか胸のつかえが下りたことだと思ひます。

不便な迂回路を使っての生活を送るようになって4年という長い時間が経過し、先が見通せないことに住民は強い不満や不安を抱えていたと思ひます。工期の長い工事においては、復旧に至る工程を繰り返し丁寧に説明していくことが大事と考えますが、町長のお考えをお伺ひします。

【議長 那須 富重】

町長の答弁を許します。

【町長 田中 秀俊】

議長。

【議長 那須 富重】

町長。

【町長 田中 秀俊】

皆さんおはようございます。今日から明日にかけて5名の議員の皆様から一般質問通告を受けております。よろしくお願ひします。

本日は、美郷北義務教育学校の9年生の皆さんが傍聴に来たということで本当にうれしく思うところであります。この傍聴を通じて何か感じるこ、また得ることがあれば幸いかなと思っております。皆様方の今後の将来の糧にさせていただきたいという思ひであります。寒くなりますが、風邪などひかないように勉学に励んでいただきたいと思ひます。

それではただいま山本議員の御質問がありましたが、それに対する答弁をいたしたいと思ひます。

今回、議員が質問されている西郷山三ヶ地区（下区）の被害箇所について、これまでの経緯を含めて御説明をさせていただきます。

当地区は、令和3年から令和6年までの4年間に発生した台風、大雨によって被害を受けた町道、林道、農地農業用施設の38か所について国へ災害復旧の申請をして、現在、完成に向けて工事を施工しております。

特に被害が大きく全面通行止めとなっている、町道小八重・中尾線、林道鳥の巣線は、当地区にとって大変、重要な生活道路であります。

請願書については、提出した回答書のとおりであります。当路線に災害が集中していることと、箇所によっては二次災害などによって国へ再度、協議を行い、審査、決定までに時間を要し災害規模も大きいことから、完成に向けての期間が長くなる箇所もあります。

本町としても、これまで工事担当者、請負業者様には、事前説明、また、工事を負契約した段階で文書、看板等で周知し、地権者等を含めた関係者の方に説明を行うよう指示、指導をしてきましたが、当地区の被災箇所全体の説明、また、工事の工程、進捗について一部の方のみ理解し、下区の皆様に十分な理解が得られていなかったことにつきましては反省するところであります。

これまで、通行止めなどの規制によって、地元の方、御利用される方には大変、長い期間、御不便をおかけしております。

また、11月16日には下区懇談会が行われ、現時点での工事の進捗などの説明を行ったところであります。

今後も、長期にわたって規制がかかるような箇所については、より詳細、丁寧に説明を行うよう工事担当者等に指示、指導をしていきたいと思っております。

以上であります。

【議長 那須 富重】

町長の答弁が終わりました。

【5番 山本 文男】

議長。

【議長 那須 富重】

5番、山本 文男 議員。

【5番 山本 文男】

町政懇談会で来られた皆さんは、見通しが分かって一安心したと思っております。

その時に、建設課の職員が資料を作って説明されていたようです。説明は言葉でするのも大事ですが、こういった目に見える形での説明も大事だと思います。長期になると、いつ工事が終わるのかぼんやりぼやけてしまったりすることがあります。こういった資料で住民の方に説明していくのも大事だと思いますが、その点についてお伺いします。

【町長 田中 秀俊】

議長。

【議長 那須 富重】

町長。

【町長 田中 秀俊】

議員のおっしゃるとおりだと思います。

ちょうど嘆願書を受けて、どういう方法で説明していくかという話の中で、パワーポイントで作って説明するのか、それとも資料を作って説明するのか、一時的に見て「ああそうか」というより、やはり資料を作成して住民の方々に提供した方が後まで残るという判断で、資料作成は必要だと思っております。

今後、説明用と配布用という方法ですればより丁寧かなと思います。議員がおっしゃるように、やはり懇切丁寧に、後まで残るような資料を作成し提供していく方がいいかなと思うところであります。

以上です。

【5番 山本 文男】

議長。

【議長 那須 富重】

5番、山本 文男 議員。

【5番 山本 文男】

そのように進めていくように、よろしく申し上げます。

2番目に、下区に限らず、突然、工事が始まって住民が困った例が幾つかあったようです。そのことについて、建設課は何か問合せなどがありましたら、お願いします。

【町長 田中 秀俊】

議長。

【議長 那須 富重】

町長。

【町長 田中 秀俊】

これ建設課長の方で。

【5番 山本 文男】

町長が分かれば、町長で申し上げます。

【町長 田中 秀俊】

議長。

【議長 那須 富重】

町長。

【町長 田中 秀俊】

一応、建設課で答弁書を作っていただいております。それで足りないところ、補

足で、建設課長に説明をさせていただきますので、御了解をお願いします

測量業務、工事等によって道路の規制など通行に支障をきたした場合は、地区、土地所有者等との関係者と調整を行い、事前説明など工事概要、期間を周知して実施するのが基本であると考えております。

しかし、パトロール、地元からの要望、また、緊急を要する突発的な業務を行うなどの短時間、短期間で完了する維持業務での補修作業、除去作業などについては、事前に説明、周知せずに実施する場合も多々あります。

一定期間を要する測量業務、道路工事として実施する場合は、地元、関係者の方には、文書、看板等で周知、説明するよう工事担当者、工事請負者様には、指示、指導しております。突然に工事が始まることはないと考えますが、今後も、通行に支障がないよう説明、周知するように担当者等に指示、指導して行きたいと思いません。議員がおっしゃることも当然だと思っております。

建設課長から何か補足があれば。

【建設課長 佐藤 文幸】

議長。

【議長 那須 富重】

建設課長。

【建設課長 佐藤 文幸】

ただいま町長が答弁されたとおりであります。年間を通して維持管理業務等、予算に応じての工事の発注業務をしております。長い期間にわたる場合は、先ほど町長が申されたとおり、周知するように指導指示をしております。

委託業務については、短期間、3日、4日程度で終わる場合は、区長に報告をしているという状況です。ただ、短時間、1日など緊急を要する場合は、こちらで判断をして作業を行っているということでもあります。

【議長 那須 富重】

答弁が終わりました。

【5番 山本 文男】

議長。

【議長 那須 富重】

5番、山本 文男議員。

【5番 山本 文男】

課長からは区長、区の代表者の方には説明しているということですが。私も過去に経験がありましたが、山に仕事に行く時に突然そそういう状態になっていて通れないこともありました。そういう部分も含めて、関係する方々には全周知を徹底していただきたいと思いません。

工事の見通しを示すことや住民に説明するなど行政として行うべき、ごくごく当たり前の内容の請願であったと考えます。

このような当たり前のことを請願として出さなければならなかった下区の方々が

抱えていた不満や不安について、町長は何か考えがありましたらお願いします。

【町長 田中 秀俊】

議長。

【議長 那須 富重】

町長。

【町長 田中 秀俊】

本当に下区の方々だけではなくて、この災害関係に関して一昨年(令和4年)の14号、昨年の6号、今年(令和5年)の10号で大きな災害を経験し大きな被害をこうむった状況であります。議員のおっしゃるとおり、災害箇所数と災害の規模が大きいことで、いろいろな形で御迷惑をかけ、今も不便をおかけしているところでもあります。

懇切丁寧にと、誰も残さないようにという言葉をよく使いますが、そうなっているのかという話になると、議員がおっしゃるようにやはりクエスチョンマークがついてくるのかなと思っております。

大きい小さいは別として、今、令和6年度、令和7年度にかけて防災無線の改修工事を行っています。今後その地区、地区に、必要とあれば防災無線を流すことができるようになります。そういう媒体を使って、緊急であっても後付けでも周知徹底していった方が、そこで工事があるから今日は山に行っても運搬ができないなど、はっきり分かるように処置を対処していきたいと思うところです。

先ほど言いましたように、下区住民に限らず町全体の皆様にこの3か年の台風災害にかけては多大な御迷惑をかけているということは承知しております。一日も早い復旧復興に向けて全力を尽くしてまいります。

以上でございます。

【5番 山本 文男】

議長。

【議長 那須 富重】

5番、山本 文男 議員。

【5番 山本 文男】

下区のみならず不便な生活を送られている方々がおられます。

請願に対する議会の意見としても述べましたが、町職員も日々の業務や災害復旧等で多忙であると思います。住民の困窮を自分事として、事に向き合っていただきたいと思います。

それでは2問目に移りたいと思います。

【議長 那須 富重】

2問目の発言を許可します。

【5番 山本 文男】

令和4年台風14号の災害で他の水源が崩壊した下区鳥の巣では、パイプを引き谷から水を取る作業を地域住民で行ったと聞いています。重機使用料は、全額を地

区の予算で支払ったようです。今回の補正予算で農業施設災害復旧事業で、重機借り上げ料が計上されていきました。地域住民でパイプを引いた経緯について、説明をお願いします。

【町長 田中 秀俊】

議長。

【議長 那須 富重】

町長。

【町長 田中 秀俊】

その経緯については、建設課が現場に向かって相談・協議の上そうなったのかなという臆測をします。私はあまり承知しておりませんので、建設課長から説明をさせていただきます。

【建設課長 佐藤 文幸】

議長。

【議長 那須 富重】

建設課長。

【建設課長 佐藤 文幸】

今回、議員が質問されている西郷下区の被害箇所について、これまでの経緯を御説明させていただきます。

令和4年、台風14号の大雨により取水口が土砂埋塞及びその他3か所の施設被害を受け、国へ災害復旧を申請しました。令和5年6月には、当地区の稲作に水が必要であることから、用水路管理組合と協議して取水口、用水路、管理道が被災されたため、仮復旧としてポリパイプを設置して用水を引くことで合意しました。

これにより用水路管理組合の管理範囲で対応可能な土砂除去以外についての暗渠水路の布設替え、用水パイプの設置に伴う費用を算出し、原材料及び重機使用料11日分の補助を行っております。

なお、他の地区では仮復旧するための用水パイプの原材料の支援、設置するための重機使用料を補助した実績もあります。今回につきまして、同様の対応をいたしました。

また、その後に地元用水の管理組合から、「仮設ではなく早急に本復旧してほしい。諸塚村の業者なら狭小な現場に慣れているため、工事ができる」との要望がありました。しかしながら、実績のない会社で建設業の許可もなく、本町への指名願いを提出されていないことから、工事の発注はできないことを説明しました。

先日、この箇所は本復旧工事を指名競争入札にしましたが、不落となり、再度、施工性を重視した工法を検討を精査し、国へ計画変更協議申請を提出して承認を得たところです。

今後引き続き、発注に向けて事務を進めてまいります。

【5番 山本 文男】

議長。

【議長 那須 富重】

5番、山本 文男 議員。

【5番 山本 文男】

説明がうまく分かりませんでした。この仮復旧に関しての重機使用料は認めなかったということですか。

【建設課長 佐藤 文幸】

議長。

【議長 那須 富重】

建設課長。

【建設課長 佐藤 文幸】

用水パイプ水路の仮復旧について、原材料のポリパイプ代と重機使用料を11日分の補助を行っております。

【議長 那須 富重】

答弁が終わりました。

【5番 山本 文男】

議長。

【議長 那須 富重】

5番、山本 文男 議員。

【5番 山本 文男】

私が読んだ資料が間違っていたのでしょうか。

「重機使用料は鳥の巣の予算で支払った」と聞いてます。10万円近くかかったと聞いていますが、その10万円かかったのは何割か補助されたのでしょうか。

【建設課長 佐藤 文幸】

議長。

【議長 那須 富重】

建設課長。

【建設課長 佐藤 文幸】

当初、建設課で黒パイプを2本仮設をしております。

後から聞いた話ですが、地元が後1本追加して仮設をしたということであります。

【5番 山本 文男】

議長。

【議長 那須 富重】

5 番、山本 文男 議員。

【5 番 山本 文男】

約 10 万円くらいの重機料は地元で負担したと聞いていますが、それは間違いなのでしょうか。

【建設課長 佐藤 文幸】

議長。

【議長 那須 富重】

建設課長。

【建設課長 佐藤 文幸】

地元が言う 10 万円については、仮設をしたときの管理道の復旧ではないでしょうか。建設課としては、パイプの原材料 30 万 4,000 円と重機借上料を払っています。

【5 番 山本 文男】

議長。

【議長 那須 富重】

5 番、山本 文男 議員。

【5 番 山本 文男】

先ほどの説明の中にあつた指名競争入札に参加していないから、知らなかったというのはどの部分ですか。

【建設課長 佐藤 文幸】

議長。

【議長 那須 富重】

建設課長。

【建設課長 佐藤 文幸】

地元の管理水道組合から、仮設ではなくて早期に工事の復旧をしてほしいという要望がありました。しかし、先ほど話しましたが、実績のない会社で建設業の許可もないことから、本町への指名願いも提出されてないということで、工事の発注はできないことを説明しております。

【議長 那須 富重】

答弁が終わりました。

【5 番 山本 文男】

議長。

【議長 那須 富重】

5番、山本 文男 議員。

【5番 山本 文男】

そのところが釈然としません。住民の方の説明では、諸塚村、町外の方の重機を使わせていただいた、そして私は職員にも聞いたのですが、「指名入札入ってないから駄目だった」と聞いています。

そのパイプを引き回すときの軽トラが入るくらいの道を整備していただくための工事だったと思います。その時に重機を使用したと思うのですが、そのときの重機使用料は支払ったのでしょうか。そこが分からないのです。

【議長 那須 富重】

いいですか。ポイント、論点が恐らくあっていないような質問と答弁になっていますので、そこははっきりしたほうがいいのではないかと思います。大丈夫ですか。

【建設課長 佐藤 文幸】

議長。

【議長 那須 富重】

建設課長。

【建設課長 佐藤 文幸】

その仮設復旧について、使用料と原材料の黒パイプは、補助しております。

【町長 田中 秀俊】

議長。

【議長 那須 富重】

町長。

【町長 田中 秀俊】

建設課からいただいた答弁の中では、原材料費が30万4,141円がパイプ的なものです。この重機借り上げ料は9万7,960円の支払いをしたということです。どの時点で支払いしたか分かりませんが、今までの答弁の中で、以前ここだけではなく仮復旧するときには材料代や重機使用料も出しております。そういう対応をしたと私は認識をしているところであります。

【議長 那須 富重】

暫時休憩します。

(休憩：10分間)

【議長 那須 富重】

それでは休憩前に引き続き、質問を再開します。

山本議員は、質問の趣旨をもう一回、確認する意味でもう一度いいですか。

【5番 山本 文男】

議長。

【議長 那須 富重】

5番、山本 文男 議員。

【5番 山本 文男】

パイプは補助してもらったと聞いています。それを引く時に、軽トラが入るくらいの道を埋めたと聞いていますが、そのときの重機使用料でしょうか。それともまた別の工事が2つあるのですか。そのことをお伺いします。

【建設課長 佐藤 文幸】

議長。

【議長 那須 富重】

建設課長。

【建設課長 佐藤 文幸】

山本議員がおっしゃるのは、管理道が約2キロぐらいあります。それと今回、被災した所の仮設復旧は約20メートルぐらいと聞いております。その中で、仮設に関わる箇所の補助をしたということです。

補助にならない、地元管理というところの線引きをして、地元の負担が10万円程度になったのではないかと思います。

【議長 那須 富重】

答弁が終わりました。

【5番 山本 文男】

議長。

【議長 那須 富重】

5番、山本 文男 議員。

【5番 山本 文男】

そうすると、地元負担で行った工事はどれでしょうか。

【建設課長 佐藤 文幸】

議長。

【議長 那須 富重】

建設課長。

【建設課長 佐藤 文幸】

後で分かったことですが、あと1本黒パイプを追加をしております。

これは地元の単独で、町には要望がなかった分の重機借上料ではないかと思って

おります。

【5番 山本 文男】

議長。

【議長 那須 富重】

5番、山本 文男 議員。

【5番 山本 文男】

今の説明で腑に落ちました。その分は地元から補助要請もなかったということでしょうか。

【建設課長 佐藤 文幸】

議長。

【議長 那須 富重】

建設課長。

【建設課長 佐藤 文幸】

ありませんでした。

【5番 山本 文男】

はい、分かりました。

それでは3問目に移りたいと思います。

【議長 那須 富重】

3問目の質問を許可します。

【5番 山本 文男】

町内には、神楽や臼太鼓など代々受け継がれてきた伝統芸能があります。習い覚えて、それを伝える伝統芸能は、伝言ゲームと同じで教える人が変わるたびに少しずつ様式スタイルも変化していきます。できるだけ本来の様式どおりに伝えていきたいと考えるのが伝統芸能に携わっている方々の願いだと思います。

令和5年度予算等審査特別委員会審査報告で出された付記事項の対応状況にはこう書かれています。

「郷土芸能の映像記録による伝承は継続した取組を行うこと」という付記事項に対して、回答は「郷土芸能保存団体等の御意見を基に、文化財保護調査委員会で調査研究し、継続して計画的に映像記録の保存と活用に努めています」という回答でした。

映像化については、文化財保護調査委員会で決定されるのでしょうか。

【町長 田中 秀俊】

議長。

【議長 那須 富重】

町長。

【町長 田中 秀俊】

議員の質問の回答が私になっておりましたが、この件については教育長から答弁させていただきます。よろしいでしょうか。

【5番 山本 文男】

議長。

【議長 那須 富重】

5番、山本 文男 議員。

【5番 山本 文男】

通告書には教育長と。

【教育長 大坪 隆】

議長。

【議長 那須 富重】

教育長。

【教育長 大坪 隆】

ただいま御質問のあった件についてお答えします。

文化財団体につきましては、町内で23団体の団体を指定しています。これらの団体等から映像化の希望がありました場合には、積極的に対応していくことにしています。

優先順位についての御質問がありましたけれども、文化財保護調査委員会を美郷町に設置しております。話し合っていく中で、団体の保存継承における緊急性や実態を十分調査した上で、年次的な計画を立てて映像化しております。

現在のところ、昨年度は指定団体ではなかったのですが、上渡川の盆踊りを録画しております。本年度は、市木の臼太鼓の踊りの映像化を実施しているところであります。

以上です。

【議長 那須 富重】

答弁が終わりました。

【5番 山本 文男】

議長。

【議長 那須 富重】

5番、山本 文男 議員。

【5番 山本 文男】

文化財保護調査委員会の委員の方を教えてください。

【教育長 大坪 隆】

議長。

【議長 那須 富重】

教育長。

【教育長 大坪 隆】

保護委員は6名おります。実名については、課長から答えてもらうことにします。

【教育課長 鎌田 次郎】

議長。

【議長 那須 富重】

教育課長。

【教育課長 鎌田 次郎】

文化財保護調査委員会につきましては、町の文化財保護条例に規定されているところでございます。現在6名の方と、お一人の方には現在まだ打診中ですが、御報告をさせていただきます。

西郷地区につきましては、松田公秀さん、藤島誠さんの2人です。

北郷地区につきましては廣島卓さん、清田哲碩さん、甲斐英徳さんの3名です。

南郷地区につきましては原田須美雄さんで、川野一郎さんには打診中でございます。

以上です。

【5番 山本 文男】

議長。

【議長 那須 富重】

5番、山本 文男 議員。

【5番 山本 文男】

分かりました。文化財認定団体からの要望があれば全て映像化していくのでしょうか。要望があれば、全て映像化していくお考えでしょうか、お伺いします。

【教育長 大坪 隆】

議長。

【議長 那須 富重】

教育長。

【教育長 大坪 隆】

地域から要望がありましたら、できるだけ応えてはいきたいと思っております。先ほど言いましたように、緊急性、まだ継承が可能であるところについては後回しという表現はちょっとよくないかもしれませんが、後からになるかと思いま

す。できるだけ応えていくようにしていきたいと思っております。以上です。

【議長 那須 富重】

答弁が終わりました。

【5番 山本 文男】

議長。

【議長 那須 富重】

5番、山本 文男 議員。

【5番 山本 文男】

映像化を望む声は多いと考えます。

先ほど、優先順位についても触れられたようです。もう一度、優先順位のつけ方、保護調査委員会の皆さんとも話し合っていくと思いますが。なかなか要望が強くて、ぜひ自分のところでやってもらいたいと思っています。そういった要望の声を拾い上げておられるのかお伺いします。

【教育長 大坪 隆】

議長。

【議長 那須 富重】

教育長。

【教育長 大坪 隆】

その点について十分、意見をお伺いしながら、話合いが行われているものと思います。話合いの内容等について、報告が答弁書の中でもあります。撮った映像をきちんと活用していくところまでも十分話し合われております。

特に優先順位の中で一番重要視されているのは、盆踊りにしろ臼太鼓にしろ神楽にしろ、その継承者が少なくなっているところ、ここをやはり優先して、できるだけ早めに早めに撮っていこうということにしております。以上です。

【5番 山本 文男】

議長。

【議長 那須 富重】

5番、山本 文男 議員。

【5番 山本 文男】

よく分かりました。それと映像化されたものはDVDだと思いますが、それはどこに置くのでしょうか。どこに置いておくものなのかお伺いします。

【教育長 大坪 隆】

議長。

【議長 那須 富重】

教育長。

【教育長 大坪 隆】

現在、西郷の図書館に共同資料室を準備しております。その中に、DVDとその専用のパソコンを置いて、映像で見られるようにしております。ただ、それがどれだけ再生されたかという点、どうも少ないようです。

先週、渡川地区で町政懇談会がありました。その中で1ついいアイデアが出され、テレビで放映してはどうだろうかと出てきております。そういった利用の仕方ができないかどうか、庁内で調整しているところでございます。以上です。

【5番 山本 文男】

議長。

【議長 那須 富重】

5番、山本 文男 議員。

【5番 山本 文男】

分かりました。

そして私からの要望です。神楽にしても臼太鼓にしても、舞っている姿だけではなく、紙を切ったりするところも記録していく必要があるということが新聞に少し出てました。そういう目に見えないところが、本当は大事なのかもしれません。そういう部分も記録するような方法で、映像を残しておくようにしていただきたいと思います。

これで、私の質問を終わります。ありがとうございました。

【議長 那須 富重】

これで、5番、山本 文男議員の質問を終わります。

ここで10分間の休憩とします。

再開を10時55分からとします。

(休憩：午前10時45分から10分間)

【議長 那須 富重】

それでは全員おそろいですので、休憩前に引き続き、一般質問を再開します。

通告順に質問を許します。

2番、早川 節夫議員の登壇を許し、1問目の発言を許します。

【2番 早川 節夫】

議長。

【議長 那須 富重】

2番、早川 節夫 議員。

【2番 早川 節夫】

皆さん、こんにちは。通告順に従いまして一般質問をさせていただきます。

私は今回、福祉児童及び教育の充実についてという題で質問させていただきます。

美郷町では支援の必要な児童に学習支援員を1人つけていただき、学校の授業を受けています。現在、美郷町にはそういう児童が3名いると聞いております。学習支援をつけて、手厚い授業の中で日々生活していると思います。3名の児童に対しまして、一日も早い復帰を目指して、学習指導員の方と日々頑張っている姿を私もよく見かけます。本当に大変な仕事かなと思っております。

学習支援員の仕事は、学習指導や生徒指導の補助、教材の準備など児童生徒と積極的に関わり、よりよい教育支援ができるよう工夫し、先生が子供たちと接する時間に集中できるように、気配り目配りを大事にする大変な仕事と聞いております。

これから先こういう児童が増えた場合、今の体制ですっとやっていくのか、お伺いをしたいと思います。

【議長 那須 富重】

教育長の答弁を許します。

【教育長 大坪 隆】

議長。

【議長 那須 富重】

教育長。

【教育長 大坪 隆】

ただいま早川議員から御質問がありましたが、美郷町に限らず全国的に様々な支援を必要とする子供たちが増えてきております。

これに対しまして、全国的にも児童生徒の安心そして安全な教育を受ける権利をしっかりと守るために、この学習支援員という制度を積極的に活用しているところが増えてきていると思われれます。

議員の御指摘のとおり、学校生活における支援を必要とする児童には本町に限らず、先ほど言いましたように全国的に増加傾向にあります。その学習支援の配置につきましては、今後も対象児童の将来的な自立、最終的に子供たちがどう自立していくか、どこまで支援をつけるか、そういった自立を見据えて、必要に応じて適切

に配置してまいりたいと考えております。以上です。

【議長 那須 富重】

教育長の答弁が終わりました。

【2番 早川 節夫】

議長。

【議長 那須 富重】

2番、早川 節夫 議員。

【2番 早川 節夫】

私は仕事が終わった後に学校に行く時間がよくあります。大概の午後4時、午後4時半ぐらいから行っています。午後4時を過ぎていきますので、子供たちがグラウンドで遊んでいる姿を見ます。その中で学習支援員の方と児童が遊んでいる姿、また交流している姿をよく見かけます。

本当に支援ということは、子供が復帰といいますか、元気に一日も早く戻れるように思い、指導員の方が頑張っていていただいているとひしひしと感じます。

今、教育長もおっしゃいましたが、この体制をずっと続けていくと言われております。学習支援員の学習や打合せなどいろいろな勉強会もなされているのか、お伺いします。

【教育長 大坪 隆】

議長。

【議長 那須 富重】

教育長。

【教育長 大坪 隆】

学習支援員の方々の役割といたしまして、学習を教えるという内容ではございません。例えば、子供たちが教室を移動するときに安全に移動ができるように、友達と遊んだりするときも安全でできるように、また工作のときにけがをしないようにという補助的なことをしていただいております。

支援員の方々のスキルアップにつきましては、特別支援学級の専門的な先生たちや学級担任、どこでけがをしそうだとか、どこで支援が必要だということについて、しっかりコミュニケーションを取りながらやっていただいております。

したがって、学習支援員の先生方に求められるのは、そういった話合いにしっかり対応できる方をお願いしているところでございます。以上です。

【議長 那須 富重】

答弁が終わりました。

【2番 早川 節夫】

議長。

【議長 那須 富重】

2番、早川 節夫 議員。

【2番 早川 節夫】

私もその姿をよく見ておりますので、重々分かります。

北郷の支援員の方と私はよく話す機会があるのですが、「私が最初に預かったときと比べると、今はもう全然、違います。目に見えて変わりました」と言っていました。

やはりこういう支援があって子供って変わっていくんだなど。やはり手厚い支援で、子供が変わっていくんだなど。子供は子供の中で変わっていくということをつくづく感じました。ぜひ、これからもよろしくお願ひしたいと思います。

次に、これに関連しての質問です。美郷町では、放課後や長期休暇、春・夏・冬休みの児童クラブの件についてでございます。

保護者が仕事で昼間、家庭にいない児童を預かっております。

しかし、その要件に満たしているのですが、その児童を預かっていない場合があるのではないかなと思っているところでございます。

この場合、現時点では保護者は学校終了まで早く迎えに行く必要がありますので、ちょっと大変かなと思っているところです。

また、長期休暇中は、町外の施設に預かっていただくしかありません。この場合、送迎バスがない場合、また送迎バスがあっても少しでも費用を抑えるため、家族交代で送迎を行っている御家族がおられます。

こういったことがないように、預かり支援ができないか。どうしても美郷町でできない場合、町外の施設に預けた場合、その家族に対してある程度の支援も必要かなと思っているところです。交通送迎支援など、何か手厚く支援ができないものか、お伺いします。

【町長 田中 秀俊】

議長。

【議長 那須 富重】

町長。

【町長 田中 秀俊】

最初に受入れ体制についてであります。

放課後児童クラブにつきましては、社協に業務委託をしております。利用の対象児童については、親が就労しているなどの条件の下に、親からの申請で預かることになっているということが基本です。

御指摘の案件につきましては、こちらも理解をしております。社会福祉協議会においても受入れ体制の整備と職員のスキルアップを研修等取り組んでいるところであります。

また、学校と連携しながらやっていく必要があると。先の問題にも関わり合ってきますので。

送迎支援についても、今、美郷町には障害児通所給付に対応した事業所などが無いということもあります。

親御さんは非常に良い大変でありますので、近隣市町村がどういう形でやってる

のかという部分も含めて、対応していきたい思うところであります。

ちなみに今の町内の児童クラブの現状ですが、119名であります。西郷が20名、北郷44名、南郷が55名です。それぞれ7名の職員で、全部見てるということであります。

令和6年度で予算要求の時期であり、社協から先程提出があったのですが。令和6年度で1,600万円ぐらいです。令和7年度は2,200万円ぐらいの要求です。なぜかという話を聞いたら、やはり人が足りないということでもあります。

北郷と南郷で2名増員したいということで、手厚く見ていきたいということでもあります。

障害児は、もう少し検討する必要があると思います。やはり放課後児童クラブの子供たちは、やはり学校が終わってということになりますので、いろいろな形で月引っ張りがあります。教育課と相談しながら、どういう形でやっていったほうがいいかと。

一番問題は人が少ないと。結局、人が少ないという問題があります。職員の不足と障害児やそういう児童に対する専門的知識の職員がいないということも問題かなと思っていますところでは。

以上です。

【議長 那須 富重】

答弁が終わりました。

【2番 早川 節夫】

議長。

【議長 那須 富重】

2番、早川 節夫 議員。

【2番 早川 節夫】

今の町長の答弁は、総括的な答弁かなと思っています。

現在、北郷に関して言えば、1名の児童が預かり児童ですが、その児童が放課後児童クラブの長期休業のときに預かっていただけないので、町外の施設に行っておられます。

私は、今から必ずとは言えませんが、そういう方々が今後出てくるのではないかなと思います。現時点もあるわけですから、その助成の在り方や補助の在り方を見直していただいて。

現に一家族、町外に預かって送迎をしています。まず施設のことから大きなことはできないかもしれませんが、送迎支援からでも入っていただけたらかなと思っています。いかがでしょうか、町長、伺います。

【町長 田中 秀俊】

議長。

【議長 那須 富重】

町長。

【町長 田中 秀俊】

その児童、児童に合った指導をしっかりと考えていかなければならない。

いろいろな子供たちが入ってくるという話の中で、今の在り方でいいのかという部分も含めて、関係課と話しながら、今のものを進めていきながら、やはり不具合が出てきている、うまく回らないなどの反省も含めて改善をしていく必要があると思うところでもあります。

確かにいろいろな形で事を想定して対処していく必要が出てきたという時代になったのかなど、そういうことで考えていきたいと思っております。

【議長 那須 富重】

答弁が終わりました。

【2番 早川 節夫】

議長。

【議長 那須 富重】

2番、早川 節夫 議員。

【2番 早川 節夫】

やはり一番、今から美郷町が考えていけないといけないことは、そういう支援を受けている児童さんがいると、その支援を受けている児童さんが一日も早く受け入れできるように、また家族が安心して子供の見守りができるような支援策も、本当に必要なことかと思っております。

またこの質問に関しては、いろいろな問題があるかと思えます。私も重々分かっております。美郷町で預かり支援を行うとすれば、現時点では、先ほども町長が言われてました社協委託になっております。社協に負担をかけてもいけない。また、放課後児童クラブの長期休暇の預かり支援員の方も一般の方がいると承知しております。やはりそういう人たちにも負担をかけてはいけない。

一番は専門的な問題等も入ってくるかと思えます。そこが一番大きい問題かなと思えます。これからのことも考えながら、美郷町でそういう問題があるのは間違いありません。しっかりと見せていただいて、これからの課題として議論をしてほしい、取り組んでいってほしいなど思っているところです。いかがでしょうか。

【町長 田中 秀俊】

議長。

【議長 那須 富重】

町長。

【町長 田中 秀俊】

専門的な資格を持つ職員は、今まではあまり考えなくてよかったのかなということですが。こういう時代になって、いろいろな子供が放課後児童クラブに来るといことで、いろいろなトラブルも起こったりしています。その中で安全安心でちゃんと預かれるのかと考えたときに、専門職員の受入れは必要になってくると。

専門職員がいないので保育所の職員が行くとか、今度は逆に手薄になったりそう

いう事象もちらほらあるとということ聞いてます。それは本末転倒かなという気がします。そういう方向の専門性のある職員、そういう人たちを採用して事に当たらせるということが、一番ベターかなと思っております。

今度はその専門職員を採用する、またはできるとかという話になると、また難しいことがあるかと思いますが、やはり進んでいくべきかなと思ってます。

以上でございます。

【議長 那須 富重】

答弁が終わりました。

【2番 早川 節夫】

議長。

【議長 那須 富重】

2番、早川 節夫 議員。

【2番 早川 節夫】

ありがとうございます。このことにつきましては、本当に取り組んでいただいて、担当課の職員の方々またいろいろな方々と協議をしてやっていってほしいなと思ってる所です。

先ほども言いましたけど、そういう支援を受けている児童の御家族、町外に預けてるために出ております。その支援も考えていただければありがたいかなと思ってる所です。

議長、2番目の質問に移りたいのですが。

【議長 那須 富重】

2番目の質問を許します。

【2番 早川 節夫】

ありがとうございます。この質問に関しましては、再質問となります。

補聴器購入費時の補助についてです。

この質問は、令和4年12月に一般質問を行いました。その後も2回の追跡調査も行い、2回目の追跡調査で今年3月18日の回答では、「加齢による身体機能は、聴覚だけでなく他にもあり、全ての助成制度を展開できないから支援はできない」との趣旨の回答がございました。

しかし、全てに支援ができないのは、何もしないことになるのではないかなと私は思っている所でございます。

なかなか全ての支援ができないが、本当に必要なこと、これは町が取り組まなければならないこと、支援していくのが行政ではないかと私は思っている所です。

また「国と歩調を合わせるべき」とありましたが、なぜ国と歩調を合わせないといけないのか、町独自の政策ができないのか、疑問に思った所でございます。

そのところの説明を宜しく願います。

【町長 田中 秀俊】

議長。

【議長 那須 富重】

町長。

【町長 田中 秀俊】

補助金という制度ですが、今、美郷町で180か190ぐらい補助制度があるかなと思っております。

普通、考えれば補助金というのは3年間でうまくいけば、もうそれで廃止すると。スクラップアンドビルドといいます。壊して作り直すということです。180が倍になってという話になると、非常に財政を圧迫すると。「しません」という話ではなく、スクラップアンドビルドかなという部分で「財源的にも」と「財政的にも」という話をしたような気がします。

それと、「国の歩調を合わせる」という話であります。そういうふうにしたかどうかは分かりませんが、そういうことで言ったということであれば。

この難聴の話になると、議員がおっしゃいましたけど、うつや痴呆などの原因になってくるということであれば、今後、高齢者が増えていく中で、難聴者が増えていくことによって経済的損失が非常に出てくると。そうなるとうちの仕事が進まない、いろいろな医療費が上がるという話になって、結局、国がそこに目を向けて対策を考える時代に来たときの話で、歩調を合わせていったほうがいいかなという話でしたところでございます。以上です。

【議長 那須 富重】

答弁が終わりました

【2番 早川 節夫】

議長。

【議長 那須 富重】

2番、早川 節夫 議員。

【2番 早川 節夫】

町長のおっしゃるとおりでございます。難聴が、認知症の危険の要因の一つでもあります。少しでもその解消のために、補聴器をつけることが本人のためだけでなく近隣、近所の人たち、周りの人たちにも必ずいいことだと思っております。会話ができなくなると、近所の人たちが来て話をしようと思うと、自然と逃げてしまいます。家に閉じ籠もって出てこないようになります。

ただ、補聴器の金額が、高額になっております。平均が30万円と言われております。両耳をつけないと、ちょっと駄目な人もいます。片一方だけでもいい人もいますが、ほとんど30万円から40万円と言われております。

なぜこの補聴器がいいのかというと、初日に1時間半、2時間ぐらい検査をします。高音、低音、音の高さの検査をして、左耳はこの高音をこれだけ聴こえるように、左耳はこういう形という調整をして合わせてくれます。それで一度持って帰ってもらいます。

それが1か月、2か月すると、必ず合わなくなってきました。また連れていけば、調整をして、また聴こえるようになります。それが1年でも2年でも5年でも10年でもできるそうです。それで高くなっていくのかなと思っております。

やはり補聴器があれば、町長も言っておられるように明るく、楽しい住みやすいまちを目指しているのだと。また戻ってくるのではないかなと思うんですが、町長いかがでしょうか。

【町長 田中 秀俊】

議長。

【議長 那須 富重】

町長。

【町長 田中 秀俊】

この質問であります、今回が3回目でいいですか。言われたとおり「音」は、高さや大きさに聞こえたり、聞こえなかったりするということでもあります。

確かに聞こえなくなると、やはり引っ込み事案やうつなどの病気といいますか、地域社会、家族の中でも何か阻害されるというか、そういう感覚になってくことは重々分かる気がします。

障害の方は、いろいろな形で今できるようになってはいますが、一般の高齢になったときの対策で前向きに検討していきます。

そのときにどういう形がいいのかちょっと分かりませんが、私は、その補聴器専門のところじゃなくて病院に、聴覚士の専門の人がいるところがいいのではないかと。病院の人がこういうものいいですよという話でやっていく方がいいのかなと。

補聴器自体は分かりませんが、聴覚士の専門員を置いてる病院のほうが後々、非常にいいのかなと思っております。そのことも含めて、今後、令和7年度予算に反映できるか分かりませんが、できたら、途中の補正でもやっていきたいと思っております。

しかし、しっかりと精査する、検討する時間が必要でございます。補正にかけたときには、よろしくお願ひしたいと思っております。以上です。

【議長 那須 富重】

答弁が終わりました。

【2番 早川 節夫】

議長。

【議長 那須 富重】

2番、早川 節夫 議員。

【2番 早川 節夫】

ありがとうございました。やはり年金で生活をしている高齢者の方々になると、高嶺の花であり大変なものだと思います。その方々に少しでも手厚い支援ができれば、また1人でも少なくなると、また明るい生活ができるようになるかと思っております。一人でも多く助けるではございませんが、そういう方々のためにぜひよろしくお願ひしたいなと思っております。

以上で、私の質問を終わります。ありがとうございました。

【議長 那須 富重】

これで、2番、早川 節夫 議員の質問を終わります。
それでは、5分間の休憩とします。
再開を11時24分とします。

(休憩：午前11時19分から5分間)

【議長 那須 富重】

それでは、全員おそろいのおようですので休憩前に引き続き、一般質問を再開します。

4番、兒玉 鋼士 議員の登壇を許し、1問目の発言を許します。

【4番 兒玉 鋼士】

議長。

【議長 那須 富重】

4番、兒玉 鋼士 議員。

【4番 兒玉 鋼士】

それでは、通告に従い質問をさせていただきます。

今回は、町の大規模保安林化推進事業や地籍調査事業と実測課税移行、国・県等の主要道路の維持管理について質問を行います。

それでは、1番目の町の大規模保安林化推進事業について。

①保安林制度には、その役割や期待される効果があり、それを町が推進することには理解するところであります。

しかし、保安林に指定されると、税の優遇措置がある反面、伐採の制限や植栽の義務、また、作業許可の申請や届出の義務などいろいろな制限や条件があります。そのことをしっかりと周知して推進をしているのか、伺います。

と同時に、今年4月から保安林内作業の申請や届出については、町でも受け付けているようです。こちらも周知ができているのか伺います。よろしく申し上げます。

【議長 那須 富重】

町長の答弁を許します。

【町長 田中 秀俊】

議長。

【議長 那須 富重】

町長。

【町長 田中 秀俊】

本町が令和4年度から取り組んでおります美郷町大規模保安林化推進事業につきましては、令和4年第3回定例会の議員全員協議会におきまして、担当課より説明をさせていただきます。その目的は、水源の涵養や山地災害の防止等、森林が持つ多面的な公益的機能の喪失防止、及び林政最大の課題である伐採後の再造林が確実に実施されるよう計画したものでございます。

議員の言われるとおり、保安林に指定されるとメリットとデメリットが生じます。

この周知方法につきましては、事前に実施しております森林経営管理制度及び保安林指定に係る意向調査アンケートと合わせて、美郷町が大規模保安林化推進事業に取り組む目的、保安林制度の仕組み、保安林の指定施業要件や優遇措置等を記載した文書を送付し、周知を行っているところでございます。

また、広報紙や地区説明会においても周知徹底を図っており、説明会に参加され

た方、参加されなかった方への周知もお願いしているところでございます。

また、本年4月より県の権限移譲により、保安林の指定・解除、伐採許可等に係る事務を町で実施できるようになりました。これにつきましては、令和6年4月号の広報誌、及び町のホームページにより周知を行ったところです。

また、令和6年3月に東白杵農林振興局から、国県関係機関及び主要な林業事業体へ案内文書を発出しておりますので、周知は図られていると判断しているところでございます。以上です。

【議長 那須 富重】

町長の答弁が終わりました。

【4番 兒玉 鋼士】

議長。

【議長 那須 富重】

4番、兒玉 鋼士 議員。

【4番 兒玉 鋼士】

ただいまの保安林化推進事業については、周知して理解をしていただいて事業は進んでいるとのことでございます。

また、今年4月から保安林内における立木伐採の申請や届出が町で受付をしているということでございます。そのことを周知はされているということですが、説明会に参加されない方がいるということでもあります。

そして、実際に立木伐採の申請や届出を町で受付をしていることを知らないで、延岡の振興局に向かっている人もいるという話も聞きました。

このことについて、情報が行き届いていないこともあり、機会があるごとにさらなる周知が必要だと考えます。また、他に聞いていない人がいれば、私も今後は伝えることにいたします。

町が推進している保安林制度の仕組みについて、制限や利点、保安林に指定される要因、また保安林の解除はできるのか、指定における行為制限、優遇措置、処分、罰則などについては、みんながすることだから悪いことではなかろうということ、制度内容をよく理解されていない人、そして保安林化の内容もよく理解されていない人もいます。

通告外かもしれませんが、関連してお尋ねします。制度の内容をよく理解していただくために保安林のしおりなどを配布するような考えはないか、伺います。

【町長 田中 秀俊】

議長。

【議長 那須 富重】

町長。

【町長 田中 秀俊】

大規模保安林化をしていく事業ですが、結局するか、しないかは本人さんの考え方次第ということでもあります。そこまで持つていくためには、やはり周知徹底が必

要かなと。

私の考えは、町外の森林所有者への周知徹底がなかなか難しい部分もあります。町内に住んでいる方については、いろいろな方法で周知徹底していく必要があると思っております。議員がおっしゃるような方法、もう少しこういう方法がいいではということなど、やはり周知徹底して。聞いてなかったということが一番困ることです。「そんなことは聞いていなかった」という話になると、町が悪いという話になる可能性があります。そういうことは、なるべく避けていきたいと思っております。いい方法があれば、また参考にさせていただきたいと思っております。

以上です。

【議長 那須 富重】

答弁が終わりました。

【4番 兒玉 鋼士】

議長。

【議長 那須 富重】

4番、兒玉 鋼士 議員。

【4番 兒玉 鋼士】

今、町長がおっしゃった答弁のとおり町外に出ておられる方、所有者が分からないところもある、周知が届いていないところも確かにあると思います。大半の方がよく理解されていないのではないかと考えますが、今後、丁寧に説明してあげることとは大事なことだと思います。

しおりが配布できないのであれば、先ほどおっしゃるとおり、町報に記載することや伝える機会があるごとに、町長さんたちはいろいろなところでお話をする機会があると思いますので、周知をする機会があるごとに、心がけていただくように今後よろしくお願いします。

次に、保安林化の計画期間と推進状況を伺います。

【町長 田中 秀俊】

議長。

【議長 那須 富重】

町長。

【町長 田中 秀俊】

保安林のしおりは、何か国が作っていたような覚えがありますが。国からもらって、配布できれば配布していきたいなと思います。

保安林化の計画期間と進捗状況ということでもあります。

この保安林化をもう少し先にやればよかったなと悔やんでおります。期限という部分で、やはり周知徹底から保安林化していく中で、ずっと思っていたのですが、なかなか私の方が踏み切れなかったことで、本当に申し訳ないと思っております。

旧北郷村の保安林化を参考にしながら、そんなに簡単にできる話ではないこと、年月もかかります。何でかなと。ずさんなことという思いがするのですが、私自身

については、もう少し早くやっていくべきだったなと思っております。

いろいろな取組みをずっとやっていくときに、計画期間が令和11年度ぐらいになります。非常に筆数も多いのですが、それをやっていく必要があると。

特に南郷の小丸川は、国から許可をもらわなければならない。一級河川ということで、北郷や西郷とは少し事情が違います。北郷・西郷は、今まで県に上げて、県の許可ということでした。

今度は権限移譲で、町から上げて町が許可するということになると思います。そこはいいとしても、小丸川の方がそういうことだと。

申請後、いろいろな形で上げてきて、登記が直って保安林をるところが全部、備わっていくのが、計画では令和11年度を目指しております。もっと早くやればよかったというのは、そういうことでございます。以上です。

【議長 那須 富重】

答弁が終わりました。

【4番 兒玉 鋼士】

議長。

【議長 那須 富重】

4番、兒玉 鋼士 議員。

【4番 兒玉 鋼士】

ただいま町長の答弁によりますと、保安林化を進めていく人たちのためにいろいろなことを考えていらっしゃることはよく理解できました。

また、説明等にも様々な問題があることで、保安林化への計画期間、進捗状況について、ある程度は理解できてきたところです。

保安林に指定ができれば、再造林することや制限が期待できる効果があると思います。樹木は地中にたくさんの根を張り巡らせているため、土壌が流されないように、山の斜面をつなぎ止める役割を果たしています。

山に森林がある場合とない場合、裸地、裸の土地、山ということですが。それと比べると、流出する土砂の量は150分の1に抑えられると言われていています。

台風などによる山崩れ災害から守る役割を果たしております。また山林の土砂崩壊により、川に堆積している土砂を除去しても、現状はまた上の砂利が台風時に堆積する状況にあります。このような状態を減らすためにも、公益上においても、保安林化はぜひ必要だと考えます。

9月議会において、保安林化への業務が多忙により補正予算を計上されています。保安林の指定には、必要な書類を準備するだけでも11ほどあります。町長が先ほどおっしゃいましたが、困難な作業があることで、多岐に渡る作業と考えます。保安林化が早期実現できますように、関係職員に頑張っていただくことをお願いして、2番目の質問に移りますが、議長、よろしいでしょうか。

【議長 那須 富重】

2問目の発言を許可します。

【4番 兒玉 鋼士】

2の地籍調査事業等実測課税移行について、質問いたします。

①の地籍調査には、筆界未定地などの問題があるということでしたが、法務局への登記は予定どおり令和7年度に完了する見込みか伺います。

また、地籍調査後の山林の増加面積を伺います。

【町長 田中 秀俊】

議長。

【議長 那須 富重】

町長。

【町長 田中 秀俊】

地籍調査事業であります。御案内のとおり令和4年度に町内全域での現地調査を終えております。令和5年度からは県への認証請求、また調査成果の法務局送付等々が残っておりますが、おおむね計画どおりに進展している、進んでいると考えております。

令和7年度において、西郷地区の峰・千本地区の調査成果を法務局に送付した後、登記が完了いたします。昭和36年度から開始された地籍調査も完了を迎えることとなります。

なお、地籍調査後における山林面積については、御案内のとおり縄延びが想定されます。課税のときにどのくらいになるか、まだはっきりしないということであります。

簡単に言えば、南郷・西郷でアバウトに言えば、縄延びは約4倍であります。北郷地区は実測ですので、それはありませんが、そのくらいの縄延びが山林で生じることとなります。

課税をしたときに、山林で今の面積とどれくらい変わるかは、その時にならないとはっきりした数字は言えないということでございます。

以上です。

【議長 那須 富重】

答弁が終わりました。

【4番 兒玉 鋼士】

議長。

【議長 那須 富重】

4番、兒玉 鋼士 議員。

【4番 兒玉 鋼士】

先ほどの町長の保安林化の答弁のときも、もう少し早く保安林化を進めればよかったと。そういうことでちょっと含みがあるかなと考えているところでございます。

計画は、順調に進んでいるということでございます。これは令和7年度までには終わるということと考えてよろしいですか。

【町長 田中 秀俊】

議長。

【議長 那須 富重】

町長。

【町長 田中 秀俊】

峰・千本地区という取り残しがありましたが、令和7年度までには法務局の登記が完了する予定であります。先ほど言いましたように昭和36年度から開始してきた地籍調査事業が令和7年度に完了するのではなかろうかと思うところであります。

【議長 那須 富重】

答弁が終わりました。

【4番 兒玉 鋼士】

議長。

【議長 那須 富重】

4番、兒玉 鋼士 議員。

【4番 兒玉 鋼士】

前回、私が伺ったときの町長の答弁では、「筆界未定地などが問題である」という答弁をいただきました。この問題については、どのようになったのか、伺います。

【町長 田中 秀俊】

議長。

【議長 那須 富重】

町長。

【町長 田中 秀俊】

地籍調査事業ですので、地籍調査一筆、一筆調べて、その面積と境界、所有者、地目の調査事業であります。境界が分からないところも若干あるかもしれませんが。筆界未定は、Aという人はここだと言ってBという人はここだと言えばなかなか境界は引けないということであります。そういう所を残してでも、地籍調査事業としてはそういうことになるかと思っております。

ただ、課税とは別な話であります。以上です。

【議長 那須 富重】

答弁が終わりました。

【4番 兒玉 鋼士】

議長。

【議長 那須 富重】

4番、兒玉 鋼士 議員。

【4番 児玉 鋼士】

計画どおり令和7年度は進んでいるということでございました。筆界未定地は、次の課税のことによってまた再度、お尋ねすることになるかもしれませんが、よろしく申し上げます。

また、縄延びが前回から説明がありましたとおり4倍ほどになるということで、分かりました。次に移ります。

次の実測課税に移行については、「可能な限り早い時期」との説明でありました。最短での開始時期を伺います。

【町長 田中 秀俊】

議長。

【議長 那須 富重】

町長。

【町長 田中 秀俊】

先ほどの「保安林化事業を早くやればよかった」ということにつながってきますが。本町方針としては、地籍調査の全町管理を可能な限り早い時期に実測課税を開始するという方針を決めております。

保安林化を早くしたところと、後で保安林化する部分で実測課税したときに、税の不公平性が出てくることを考えますと、非常にそれは問題になるのではないかという気がいたします。

1つは、地籍調査が終わったらという方針ではありますが、大規模保安林化をしています。大規模保安林化の事業が終わる、令和11年度という話をしましたが、それが終わって登記が直ってという話になると、令和12年度が一番最短になるかなという予定ではあります。その大規模保安林化の進捗状況によっては前倒しできるのか、また後ろに行くのかと思うところであります。

2つを同時進行といいますか、地籍調査が昭和36年から始まっています。言ったように、この保安林化をもう少し早く急げばよかったなというのはそういう意味でもあります。以上です。

【議長 那須 富重】

答弁が終わりました。

【4番 児玉 鋼士】

議長。

【議長 那須 富重】

4番、児玉 鋼士 議員。

【4番 児玉 鋼士】

町長が税のことについて、可能な限りすることが定められた法にとっては必要なことだとは考えております。地籍調査が終わった後、住民に課税することを考えて町長が不公平さをなくしていただくという考えもお聞きしました。大変ありがたいことかなと思っております。

本当を言えば、面積どおり税を払うのが本当かなと思いますが、町内においては保安林化されている所、まだ実測化されている所、そして今回、地籍調査で新たに実測化された所の3段階あると思います。そのところを加味していただいて、公平に課税していただくようお願いをいたします。

開始時期は今のところは、未定ということで考えてもいいということですか。

納税者のことや様々な問題を踏まえて、町の資産税対策を検討されていると考えます。また今後、開始時期については慎重に検討されると思いますので、次の3番に移らせていただきます。

③の固定資産の評価見直しを定期的に行っていると思いますが、その山林の課税の評価方法を伺います。

【町長 田中 秀俊】

議長。

【議長 那須 富重】

町長。

【町長 田中 秀俊】

非常に難しい質問であります。評価替えというのは3年に一度行っております。この固定資産税は、非常に厄介という気がします。

住民税は前年の所得から課税しますが、固定資産税は、いつからやっているか、昔の話からずっと固定資産税を引っ張ってきてます。本当その地目が正しいのか、面積が正しいのか、所有者が正しいのか、納税者が正しいのかなどいろいろな問題。

そして、道路を挟んで右と左にある用地が、雑種地で同じ評価をされているのかなど、パーフェクトを望むのはなかなか厳しい部分があると私は認識しております。

税務課長が頭を痛めながら、日夜、不公平是正というか、公平にしていくためにしておりますが、まだ追い付いていない部分が出てきてます。

評価の方法としては、3年に一遍、評価替えをしています。山が急に上がるということはありません。平米単価で、ある程度据え置いているということです。

宅地などは上がっていますが、今年1月1日に起きました能登半島の辺は、評価としては下がったと。そういったことが非常に影響しています。特殊な例があれば上がる要因、下がる要因があれば、その評価は見直されていくということです。美郷町の場合は、その評価自体はそんなに変わらないということでもあります。

議員がおっしゃるこの山林の評価につきましても、私も税務課長からいただいた資料を読みますが、分からない部分があり、その中身の詳しいことは、税務課長から説明をさせていただきます。

山林の評価につきましても、標準的な山林の価格を算定し、その他の山林は標準的な山林に比準して算定する標準山林比準方式による評価方法とされております。標準的な山林を選んで、そこを評価して、またその周りの山林を評価していくという方法です。簡単に言えばですね。

そこにはいろいろな要素が入ってきますので、簡単ではないという話であります。私は、それぐらいしか答えられませんので、「もう少し詳しいことを」とおっしゃれば、税務課長に答弁をお願いしたいと思っております。以上です。

【議長 那須 富重】

答弁が終わりました。

【4番 児玉 鋼士】

議長。

【議長 那須 富重】

4番、児玉 鋼士 議員。

【4番 児玉 鋼士】

今の町長の答弁内容で、少しは私も理解しましたが、できれば勉強のために税務課長から説明をしていただければと。説明をよろしくお願いします。

【税務課長 川村 博昭】

議長。

【議長 那須 富重】

税務課長。

【税務課長 川村 博昭】

具体的な方法は、先ほど町長から答弁がございましたとおりです。標準的な山林とは、全ての山林の評価上の基準になると同時に、山林の適正な評価基準や市町村内、または市町村相互間の山林の評価の均衡を確保する指標とされており、その標準的な山林につきましては、具体的には位置、地形、土層、林産物の搬出の便等の状況から見まして、比較的、多数存在する山林とされております。

その標準的な山林の価格の設定につきましては、固定資産評価基準におきまして、実際に売買の行われた山林の実例価格から算出されるものとされており、その売買実例価格から不正要素に基づいた価格を差し引いたものが正常価格で、標準的な山林の価格とされているものでございます。

なお、その山林の単価価格が制定された後に、その他の山林の価格は比準になり、その比準におきましても固定資産評価基準の中に比準表がござい、そこで計算されたものが、その他の山林の評価ということになっております。以上です。

【議長 那須 富重】

答弁が終わりました。

【4番 児玉 鋼士】

議長。

【議長 那須 富重】

4番、児玉 鋼士 議員。

【4番 児玉 鋼士】

今、説明がございましたが、固定資産税の評価基準は国で定められたものかどうか伺います。

【税務課長 川村 博昭】

議長。

【議長 那須 富重】

税務課長。

【税務課長 川村 博昭】

固定資産評価基準につきましては、地方税法の中で総務大臣が告示することになっております。総務大臣が実際に決めた内容に基づいて、固定資産税の価格等が決定されているということでございます。以上です。

【議長 那須 富重】

答弁が終わりました。

【4番 兒玉 鋼士】

議長。

【議長 那須 富重】

4番、兒玉 鋼士 議員。

【4番 兒玉 鋼士】

今の説明で大体というか、あまり分からないところもありますが。

町の山林の評価額は、現在1㎡当たり20円で、30万円以上、面積は1.5ha以上が課税対象山林になっていると令和5年3月に伺ったところです。

この評価額は現在も変わっていないということですか。よろしく申し上げます。

【税務課長 川村 博昭】

議長。

【議長 那須 富重】

税務課長。

【税務課長 川村 博昭】

土地の評価価格につきましては、今、議員おっしゃいました20円という数字はあくまで平均的なものでございます。実際には19.921円というものが令和6年の提示平均価格、全体の平均になっております。

それ以外の御質問については、ちょっと聞き漏らしたのですが。もう一度、質問を確認したいと思います。よろしく願います。

【4番 兒玉 鋼士】

議長。

【議長 那須 富重】

4番、兒玉 鋼士 議員。

【4番 兒玉 鋼士】

一応、前回において、1㎡当たり山林の評価額は20円で30万円以上になった場合、課税対象になるということです。面積にすると、1.5ha以上になったとき30万円以上になりますので、これが対象になるのかなとお伺いしたところでは。

【税務課長 川村 博昭】

議長。

【議長 那須 富重】

税務課長。

【税務課長 川村 博昭】

単価については今、御説明申し上げたとおりです。あとは課税標準額、土地につきましては30万円を超えた場合課税になり、30万円未満であれば免税となっております。

先ほど1町5反というお話ですが、これはあくまで個人が所有している資産の総評価額、総課税標準額が30万円ということです。1筆が1町5反ということではございませんので、御了承いただきたい。よろしく申し上げます。以上です。

【議長 那須 富重】

答弁が終わりました。

【4番 兒玉 鋼士】

議長。

【議長 那須 富重】

4番、兒玉 鋼士 議員。

【4番 兒玉 鋼士】

説明は分かりましたが、1㎡当たりの単価が平均的に12,921円という基準の金額はどういう算出になっているのか、分かれば伺います。

【税務課長 川村 博昭】

議長。

【議長 那須 富重】

税務課長。

【税務課長 川村 博昭】

御発言の平均ですが、19,921円で12,91ではございません。

これはあくまで全町の平均であり、先ほど答弁いたしました手法に基づいて、町内には約2万7,000筆ほどの課税山林がございます。その平均ということで御認識いただければと思います。以上です。

【議長 那須 富重】

答弁が終わりました。

【4番 児玉 鋼士】

議長。

【議長 那須 富重】

4番、児玉 鋼士 議員。

【4番 児玉 鋼士】

すみません、私の聞き間違いで申し訳なかったです。

19,921円ということで、これは要するに面積にしたときに1.5haでは課税対象にならないという理解でいいわけですね。分かりました。

町が、国で定めている固定資産評価基準で決めているということで、また、近隣町村との比較等はされていないのか伺います。

【税務課長 川村 博昭】

議長。

【議長 那須 富重】

税務課長。

【税務課長 川村 博昭】

この区画の基準的な山林の基礎につきましては、先ほど冒頭で申し上げましたとおり、市町村間の均等均衡を図るということで、その点につきましては県知事が市町村から上がった標準的な山林の指標について検討がなされております。

その結果に基づいて回答を受けた内容が、先ほど申し上げました内容です。市町村間で直接、やり取りをしているというものではございません。以上です。

【議長 那須 富重】

答弁が終わりました。

【4番 児玉 鋼士】

議長。

【議長 那須 富重】

4番、児玉 鋼士 議員。

【4番 児玉 鋼士】

説明、分かりました。

先ほど、個人の山林を課税対象するときは1筆ごととか、個人所有山林面積の合計に対してなのか、1筆ごとではなく合計に対して課税するという説明も伺いました。よく分かりました。

このことは、町民の関心事だと考えましたので、また再度、伺いました。

これどうしましょうか。次に移ってもよろしいでしょうか。

【議長 那須 富重】

一応、この2問目はこれで終わりですかね。

【4番 兒玉 鋼士】

これで終わりたいと思います。

【議長 那須 富重】

それでは、今、時間がお昼になりましたけれども、どうでしょうか、あと1問、残っております。時間的にどうですか。

兒玉議員、どのくらい予定してますか。

【4番 兒玉 鋼士】

15分程度、20分かな。

【議長 那須 富重】

このまま延長して15分程度ということですが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」との声あり)

【議長 那須 富重】

執行部の皆さんよろしいですかね。

問題のある方いまませんか。

(「異議なし」との声あり)

【議長 那須 富重】

それでは、延長して、質問を続けたいと思います。

【4番 兒玉 鋼士】

議長。

【議長 那須 富重】

4番、兒玉 鋼士 議員。

【4番 兒玉 鋼士】

次に、3番目の主要道路の維持管理について、①の道路の維持管理が不十分で、それが原因で事故が発生したときの町の対応を伺います。

【町長 田中 秀俊】

議長。

【議長 那須 富重】

町長。

【町長 田中 秀俊】

日常の生活に直結する生活道路となっている道路の損傷において、その損傷で利用者、地域住民などの通行に支障があるようであれば、道路管理者として適正に管理するという責務があります。可能な限り維持管理、補修等に努めているところではあります。

事故の発生状況については、令和5年度に2件発生しており、いずれも側溝のグレーチング蓋が跳ねたことにより車の破損事故がありました。町管理施設での財物事故として、賠償補償保険を適用して処理を行っております。

しかし、第三者による損傷の要因となる事案が発生するような場合、行政側としては損傷を未然に防ぐよう指導を行い、損傷の原因に明らかな過失がある場合は原因者に原状回復を求めていくこととなります。

こちらに不備があれば、その保険で対応していくこととなります。そうならないために維持補修をしっかりとしなければならないということでございます。以上です。

【議長 那須 富重】

町長の答弁が終わりました。

【4番 兒玉 鋼士】

議長。

【議長 那須 富重】

4番、兒玉 鋼士 議員。

【4番 兒玉 鋼士】

不備があった場合は、町の保険などで対応しているということで答弁をいただきました。

それ以外、町道には買上げ地以外に個人の土地などがあると思います。道路沿いで、その辺の土地で危険木等など災害があった場合には、町としてはどのような対応になるのか、伺います。

【町長 田中 秀俊】

議長。

【議長 那須 富重】

町長。

【町長 田中 秀俊】

質問要旨の2番目のことでいいんですか。

今の危険木というか、支障があれば行政側としても放っておくことはできませんので、対処はしたいと思います。

支障木は所有者がいますので、所有の責任の中でやってまいりました。台風災害等によって折れた場合は、また別な話であります。やはり山林所有者、土地所有者に、維持管理はお願いしたいということでもあります。以上です。

【議長 那須 富重】

答弁が終わりました。

【4番 兒玉 鋼士】

議長。

【議長 那須 富重】

4番、兒玉 鋼士 議員。

【4番 兒玉 鋼士】

ただいま答弁をいただきましたが、個人の所有林で危険な木があったり、そのことが原因で事故になった場合、その所有者が高齢により金銭的にもなかなか厳しい面があります。自分でその木を除去したり、維持管理ができない場合、また町外に所有者がおられる場合などは、どのように考えますか。町長の考えを伺います。

【町長 田中 秀俊】

議長。

【議長 那須 富重】

町長。

【町長 田中 秀俊】

それを除去してくださいねという話が先だと思っております。

例えば、私の考え方でありますが、うちが除去しますけどその費用を出してくださいねと、町がどこまでしないといけないかという話をしたとき、全てをするという話ではないと思っております。

所有権がある以上、やはりその所有者の責任において対処していく必要があると。それが民主国家と言いますか、そういうルールではないかと思うところであります。

【議長 那須 富重】

答弁が終わりました。

【4番 兒玉 鋼士】

議長。

【議長 那須 富重】

4番、兒玉 鋼士 議員。

【4番 兒玉 鋼士】

分かりました。少し冷たいような感じもしますが、町の財源等もそこまでは町で見れないということでございます。それが当然だろうと私も考えておりましたが、何らかの支援や対応はできないかと考えたので、質問いたしました。

いろいろな場合、ケースがあると思います。いずれにおいても、事故を未然に防ぐ対策は取る必要があると私は考えます。

現状において、道路に木の枝等が中央線までせり出しており、または道路がトンネル状態のところもあり道路が狭く感じる箇所や台風時などに枝折れなどが道路上の木に引っかかっており、それが朽ちたりして強風が吹くごとに落下して事故につながると思われる箇所や、道路標識、カーブミラー等が木の枝等によりよく見えな

いところなどもあります。

このまま放置しては、現状よりさらに木が育ち危険な状態になることを認識していただき、ぜひ対応していただくことをお願いして、次に移ります。

②の国県町道で、先ほどとも重複しますが、木の枝や竹、カズラなどが道路にはみ出しがあり、また道路と橋の継ぎ目の段差で大型車が通ると大きな音を立てて通り、近隣の住宅に迷惑をかけたたり通行に危険な箇所も見受けられます。

また、センターライン等が消えている箇所も見受けられます。対処する必要があると思いますが、考えを伺います。

【町長 田中 秀俊】

議長。

【議長 那須 富重】

町長。

【町長 田中 秀俊】

道路において安全な通行を阻害する草木等につきましては、道路交通の視距を妨げ安全性を損なう状況であれば、除去は必要と考えます。

町道では維持管理業務で、年に1回から2回、その他、地元や道路利用者の要望に基づきまして、道路敷きの除草、木の枝、竹、カズラなど支障のあるものについては除伐を行っております。

私有地から道路に覆い被さっている木々については、基本、所有者に対応していただくことにしていますが、異常気象等によって車両の通行に支障がある場合は、必要な範囲で緊急処置として道路管理者において伐採し、通行の安全確保を行っております。

また、橋梁の健全性については、橋梁の接続部の段差を含め、防災・安全交付金事業により5年ごとの橋梁点検で支障部等の確認をしているところです。

橋梁との接続部については橋台背面部分が盛土であるため、車両の輪荷重等によって圧密沈下が発生し段差が生じることがあります。

路面の走行性向上のため、接続部の補修が必要と考えますので、今後もパトロール等で確認し、補修可能な箇所は実施したいと思います。

国、県道で支障がある場合は、随時、日向土木事務所へ報告して対応しているところです。

また、区画線は道路幅員によりますが、走行方向や対向車との境界、夜間走行時の視認性を高めるために、大変重要な役割を担うものであります。塗り替えについては、国道、県道につきましては安全施設の整備として、毎年、県単道路維持事業で要望しているところです。県は町からの要望資料を用いて調査を行い、予算の範囲内で年次的に区画線の再塗装を行っております。今後も継続して要望を行ってまいります。

町道につきましては、地元からの要望を考慮し、他の事業との調整を図りながら計画的に対応してまいります。以上であります。

【議長 那須 富重】

答弁が終わりました。

【4番 兒玉 鋼士】

議長。

【議長 那須 富重】

4番、兒玉 鋼士 議員。

【4番 兒玉 鋼士】

ただいま、町長の説明でいろいろな点検をして、年2回ほど道路の維持管理にも努めているという説明を聞きました。

また、国県の道路に関しましては、要望をして対処していくという答弁をただいまいただきました。特に大型車を運転すると、座席が高い位置になります。その目線とその立場にならなければ、普通車では分からないことが、見えない危険なものが見えてくると思います。

特に、カズラは木の枝などの障害物があることで、運転手に聞きますとセンターラインをはみ出して走行することや山際のバックミラーはカズラや木の枝がかかるので仕方なく、たたんで走行していると聞きます。

よく見ますと、道路上の木の枝が大型トラックが走行することにより剪定されて、大型トラックのような形状になっています。また枝折れ等も道路上であります。このような状態で、対向車や後続車にも木の枝がそぎ落とされたりして危険なことだと私は考えます。

また、木の枝が道路上に差し出しているのも、秋には落ち葉などが排水溝に堆積したり、そのまま放置しておくとも、来年度の台風災害の要因になると考えます。うちの地区の歩道には落ち葉が堆積しており、学校の生徒が通行するときには大変危険な状態です。

このような状況で正月を迎えるには、町外からの多くの方が帰省されますので、見た目も非常に悪いと思います。このままでは、帰省される人たちにもよい印象を与えることはできないと思います。早急に、対応できるところは対応していただくことを期待して私の質問を終わります。ありがとうございました。

【議長 那須 富重】

これで4番、兒玉 鋼士 議員の質問を終わります。

以上で本日の日程は全部、終了しました。

次は明日ですが、午前10時に本会議を開きます。時間をお間違えないようお願いいたします。

本日は、これにて散会いたします。

【事務局長 沖田 修一】

「一同起立・礼」・・・お疲れさまでした。

(散会：12時02分)

令和6年第4回定例会

美郷町議会会議録(第3号)

令和 6年12月10日

美 郷 町 議 会

令和6年第4回美郷町議会定例会会議録（第3日目）

令和6年12月10日（火曜日）

◎開会日時 令和6年12月10日 午前10時00分 開会
◎散会日時 令和6年12月10日 午後12時01分 散会

◎出席議員（10名）

1番	若杉 伸児 君	2番	早川 節夫 君
3番	中田 武満 君	4番	兒玉 鋼士 君
5番	山本 文男 君	6番	中嶋奈良雄 君
7番	川村 嘉彦 君	8番	甲斐 秀徳 君
9番	川村 義幸 君	10番	那須 富重 君

◎欠席議員 な し

◎欠 員 11番 小路 文喜 君

◎事務局職員氏名 事務局長 沖田 修一 君 書記 川西ゆきみ 君

◎説明のための出席者職氏名

町長	田中 秀俊 君	副町長	藤本 茂 君
教育長	大坪 隆昭 君	会計管理者	泉田 浩文 君
総務課長	甲斐 武彦 君	税務課長	川村 博昭 君
企画情報課長	田村 靖 君	町民生活課長	黒田 和幸 君
健康福祉課長	海野 勝弥 君	建設課長	佐藤 文幸 君
農林振興課長	松下 文治 君	政策推進室長	田常 浩二 君
教育課長	鎌田 次郎 君	地域包括医療局事務長	田原 裕亮 君
南郷地域課長	田中 幸生 君	北郷地域課長	長田 孝規 君

◎会議の経過 別紙のとおり

令和6年第4回美郷町議会定例会 議事日程（第3）

令和6年12月10日
午前10時開議

日程第1 一般質問

8番 甲斐 秀徳 議員

1. 防災について

1番 若杉 伸児 議員

1. 空家対策について

2. ごみステーション（集積所）について

3. 文化伝統芸能継承活動について

会 議 録

令和6年12月10日
午前10時00分開議

【事務局長 沖田 修一】

「一同起立・礼」おはようございます。御着席ください。
おはようございます。
本日は、一般質問であります。
本日は傍聴の方もお見えでございます。お礼を申し上げます。
ただいまの出席議員は10名であります。
これから本日の会議を開きます。
本日の議事日程は、お手元に配付の議事日程表のとおりであります。
広報用の写真撮影の申出がありましたので、これを許可しました。上着を脱ぎたい方は脱ぐことを許します。
日程第1 一般質問です。
昨日に続き、本日は残りの2名の一般質問を行います。
通告順に一般質問を行います。
通告順に質問を許します。
8番、甲斐 秀徳 議員の登壇を許し、1問目の発言を許可します。

【8番 甲斐 秀徳】

議長。

【議長 那須 富重】

8番、甲斐 秀徳 議員。

【8番 甲斐 秀徳】

改めましておはようございます。人生100年と申しまして、残りが27年になりました。まだ27年あるのかなと思いますけれども、体力がそれほど持つかどうかというのも疑問であります。

今年1年の反省をいたしますと、農業にとっては最悪ではなかったかなと思っております。夏の干ばつにおける稲作の障害、それから刈取り時期の雨による湿害がありました。

また、牛にとりましても決していい年ではなかったかなと思っております。安値状態がまだまだ続いているような状況で、なかなか畜産農家にとりましては厳しい一年ではないかなと思っております。

昨日、一昨日くらいから YouTube で畜産関係を見していますが、仙台の市場はもう空前のことになってるような感じがいたします。

我々のところも高齢者の方々が1人、2人と離農していく方が増えているような状況で、今後どうなるのかと非常に予断を許さないと考えています。

私自身、町長もですが、あちこちに行くときはいつも宮崎牛の服を着ています。この前も東京に行くときは行きも帰りも、それから議員会館に入って、中でも全部、宮崎牛で通しました。

その中で、農林省の方々がいろいろ声をかけていただいて、何もしないのに名刺

を持ってきてくれて十数人の方々と顔見知りになりました。やはり宮崎牛という服を着て歩けば、非常にいい宮崎のPRになるんじゃないかなと思っております。農林振興課の皆様方、それから議員の皆様方も、できましたら宮崎牛の服を着ていただくと非常にありがたいかなと思っております。「DRIVE TO MISATO」もいいんですが、実質の身になる宣伝をよろしくお願いしたいかなと思っております。

それでは質問に入らせていただきたいと思います。

今回は防災について、町長と教育長に答弁をお願いしたいと思っております。

和田区浸水対策が嵩上げを行うことになり、工事の間に住む仮設住宅の建設予算が、今回の議案に計上されております。

また一方、皆様方の知らない花水流地区の浸水住宅もあります。一家は町営住宅に避難したままであります。この件がどうなってるのか、不透明であります。

今年の台風10号線状降水帯という言葉も、皆様の耳に慣れたのではないかと感じております。今後、想定外の被害に関することが多く発生するので、行政としての対応をお伺いしたいと思っております。

さて、町長の施政方針の防災について、記述を年度別に調べてみました。

令和4年度、「本町は地理的、自然的条件により、台風や梅雨時期等の集中豪雨等による風水害、土砂災害が発生しやすい状況にあります。近年では、数十年に一度の大雨などといった報道が珍しくなくなり、命を守る行動を取ってくださいという新たな防災情報が発信されるなど、改めて異常気象に注意を払う必要があると感じています」との記載であります。

一方、令和5年度は「各種計画に基づき、災害から町民の命と財産を守り、迅速に復旧復興が可能となるよう、強さとしなやかさを持った美郷町を目指す」となっております。

また、令和6年度は、「近年、頻発する台風や豪雨、さらには近い将来の発生が懸念される南海トラフ巨大地震等に対応するための防災対策が喫緊の課題であると考えています」との記述であります。

しかしながら、以前の災害復旧もただいま行われている途中であります。その中に台風10号の災害がかけて加わりました。

令和5年度に書いてある「迅速に復旧復興が可能となるよう、強さとしなやかさを持った美郷町を目指す」とあります。その強さ、しなやかさの意図することを説明をお願いしたいと思います。

それと、今年の災害についての反省について伺います。よろしく申し上げます。

【議長 那須 富重】

甲斐 秀徳 議員、今の内容が通告の中になかったということで、「強さとしなやかさ」ということが非常に分かりづらい質問だと思いますが。

これは一応、町長はどんな。

町長の答弁を許します。

【町長 田中 秀俊】

議長。

【議長 那須 富重】

町長。

【町長 田中 秀俊】

おはようございます。本日2名の議員の方々から通告を受けており、対応したいと思っております。よろしくお願いいたします。

人生100年ということではありますが、私はあと32年あります。私事ではありますが、考えますと、もう消費期限も賞味期限もどんどんどんどんなくなっているのではなかろうかと、そういう感覚であります。

今、議員がしなやかさと強さというか、どうするのかという話であります。国土強靱化という中で懸念される場所は、そういう手当をしていくという形であります。

あと一つは、災害はどこでどういう形で起こるか分からないということを考えれば、その結果が災害対応という形になってきます。その前の予防も大切だろうと思っております。

そしてまた一番大切なのは、住民に「自分の命は自分で守る」という話をよくします。結局、何か起こったときにちゃんと自分が逃げる場所、経路を持っているかという部分で、対応しなければならない。これが一番大切なことかなと。それが人的被害を防ぐことにあいなろうと思っております。

また、本年、本町に影響のあった主な災害としましては、日向灘を震源とする最大震度6弱（マグニチュード7.1）がございました。日向灘地震と台風10号の襲来が挙げられると思っております。

まず、8月8日に発生しました日向灘地震につきましては、本町は西郷地区で震度4、南郷、北郷地区で震度3を観測したところでございます。

地震直後に、気象庁から南海トラフ地震臨時情報が発表されましたので、地域防災計画に基づきまして、同日に災害警戒本部を設置したところでございます。この臨時情報は、8月15日まで継続されております。

また、台風10号につきましては、8月28日13時に情報連絡本部を設置しまして、同時刻に町内全域に警戒レベル3の高齢者等避難を発令しました。同日16時には警戒レベル4の避難指示を発令し、17時には災害警戒本部を設置し対応に備えました。

避難者数は最大で113世帯、174名であります。29日2時20分には宮崎県記録的短時間大雨情報、美郷町付近で時間雨量約120ミリという発表されましたが、人的被害は幸いにもなかったということが一番大きなことでもあります。

さて、令和6年度施政方針にありますとおり、今年度から来年度までの2か年かけまして防災行政無線（同報系）の再整備を行っておるところでございます。

また、9月1日の防災の日に併せて、町統一防災訓練を実施しました。町内43か所2,080名に参加いただきました。今年度のコミュニティ助成事業の地域防災組織育成助成事業では、峰区自主防災会において防災対策用品（発電機等）を整備しております。

次に、治山・砂防・河川対策につきましては、今年度も県への事業要望を行っております。令和6年度の治山対策としましては、森林の維持を行うため、崩壊している山林、荒廃している沢・谷を止める目的で11か所の治山事業を計画、実施しております。

砂防対策としましては、溪流に流出した土砂をせき止め、下流への土砂流出を防止する目的で3か所を実施しております。

急傾斜地崩壊対策としましては、崩壊による土砂災害から住民の生命を守ることが目的で6地区を実施しております。

また、河川対策としましては、川の氾濫によって水位が上昇し被害が拡大しない

よう、水害から地域を守るため、4河川の堆積土砂の除去を実施しております。

それぞれの役割は異なりますが、人家・集会施設・公共施設（道路等）などの保全対象が重要な採択要件となっております。

また、令和6年7月の町と町議会合同による県土整備部への要望活動の際、治水事業の整備促進として「治水対策」「堆積土砂の除去」を要望しております。

このように災害が起こるような箇所を未然に防いでいくことが一番肝要かなと思っておるところであります。以上です。

【議長 那須 富重】

町長の答弁が終わりました。

【8番 甲斐 秀徳】

議長。

【議長 那須 富重】

8番、甲斐 秀徳 議員。

【8番 甲斐 秀徳】

防災対策の充実というところで、お伺います。

職員に対する防災教育は、どのようなことを行っているのか、いろいろな担当がいると思いますが、一般職員も含めて、お伺いしたいと思います。

【町長 田中 秀俊】

議長。

【議長 那須 富重】

町長。

【町長 田中 秀俊】

職員に対する防災については総務課が消防担当、危機管理担当を通じて、メールなどで周知しているということであります。

私も朝礼のときなどで周知をしておりますが、細かい内容については、総務課長から答弁をさせていただきます。

【総務課長 甲斐 武彦】

議長。

【議長 那須 富重】

総務課長。

【総務課長 甲斐 武彦】

町では地域防災計画に併せまして、職員の災害時の職員初動マニュアルを作成しております。発災してからどういった行動をするのか、マニュアルを各職員には配布しています。

それと同時に、台風の接近時には庁内のメール等を使って逐次、職員には情報を

流しながら、各課ごとに業務内容を示して、その対応をお願いしているところでございます。以上です。

【議長 那須 富重】

答弁が終わりました。

【8番 甲斐 秀徳】

議長。

【議長 那須 富重】

8番、甲斐 秀徳 議員。

【8番 甲斐 秀徳】

職員が、一番の最前で動かなくてはならないので大変だろうと感じております。

職員もいろいろなことが起こった場合に、町内に住んでる方はいいのですが、日向など町外から駆けつけてくる職員に対しては、どうなるのかなと思ひまして。

例えば、非常が起こった場合に、道路が壊れた、迂回路を通ってこなくてはならなくても招集かけているのでしょうか、お伺いします。

【町長 田中 秀俊】

議長。

【議長 那須 富重】

町長。

【町長 田中 秀俊】

町の職員である以上、状況を把握して周知を徹底して来ていただくのが本当だろうと思っております。

いろいろな被災された首長の話を見ると、職員がすぐには集まれないと。2日ぐらい経過してやっと全員がそろったという話であります。こういう状況だと職員にいろいろな手段で周知しながら、自分の身を守りながら来てくださいねということが本当だろうと思っております。

その間どうするかという話になると、例えば、日向市に住んでる職員であれば、いろいろな加勢ができるときに、基本的、原則的には私は美郷町に来る努力をしていただきたいと思っております。

【8番 甲斐 秀徳】

議長。

【議長 那須 富重】

8番、甲斐 秀徳 議員。

【8番 甲斐 秀徳】

分かりました。明確な答弁をありがとうございました。

また1つ気になっていたのですが、集中豪雨の災害のときと、また地震のときの

災害は違うと思います。町としては、どういう対応を取るのかお聞きしたいと思います。

【町長 田中 秀俊】

議長。

【議長 那須 富重】

町長。

【町長 田中 秀俊】

確かに、突発的なのは地震であると。線状降水帯がかかる、台風が来る場合は、あらかじめ情報が入ってくる可能性があります。それぞれ対応が違ってくると想定されます。結局、美郷町の防災計画の中にその区分けをしている部分があります。それにのっとっていく必要があります。その内容について、総務課長から、突発的地震と台風との差について説明をさせていただきます。

【総務課長 甲斐 武彦】

議長。

【議長 那須 富重】

総務課長。

【総務課長 甲斐 武彦】

まず、風水害等の対応ですが、先ほど申しました職員の初動マニュアルにございますとおり、おおむね6時間前からいろいろ準備をしていくと決めております。気象情報を勘案しながら、即座に対応するというところでございます。

また、遠方からの通勤者に対しましては、予防的に可能な限り庁舎内に前もって宿泊するといった対応を、現在は取っております。

また、地震の発生につきましては、これはいつ何どき起こるか分かりません。まずは身の安全を確保しながら、その状況に応じて地震発生して被害が出ていけば災害対策本部が設置されます。職員は全員出勤になっております。身の安全を確保しながら、とにかく集まってもらうことが一番だと思います。その場、その場で災害の状況で、非常に難しいところはありますが、マニュアルでは決めております。以上です。

【8番 甲斐 秀徳】

議長。

【議長 那須 富重】

8番、甲斐 秀徳 議員。

【8番 甲斐 秀徳】

ありがとうございます。一番の元方であります役場の職員が指揮を執っていただければ住民も安心していけるのではとっております。

もう一つ疑問があるのですが、先ほど、町長が言ってました秋の一斉防災訓練に

多くの方々が参加していただけるということでもあります。秋の一斉防災訓練は、今、私のところでは、消火栓の取扱いが主体になっています。毎年これをやってるいます。繰り返しが一番いいのですが、他に違った取組をしている地区はあるのでしょうか。そういう訓練があったら教えていただきたいです。

【町長 田中 秀俊】

議長。

【議長 那須 富重】

町長。

【町長 田中 秀俊】

従来から消火栓の取扱いも大切なことでもあります。それはそれでやる必要があると思っております。美郷町は救急救命士がいますので、心肺蘇生法を実施する地区もあります。

また違うことを行っている地区もあると思います。総務課長が詳しいと思いますので、答弁をお願いいたします。

【総務課長 甲斐 武彦】

議長。

【議長 那須 富重】

総務課長。

【総務課長 甲斐 武彦】

毎年9月1日に町の統一防災訓練を行っております。この統一防災訓練につきましては、自主防災組織が主体となり、それに消防団員も参加をして、自主防災組織の中で、防災意識を高めながら自分たちでどういったことを訓練するのかという訓練の計画まで立てていただいて、今、実施しているところでございます。

その中で、訓練がちょっと偏っているという御意見もありました。地区によってはいろいろと趣向を凝らしまして、救急救命士を派遣いただいて心肺蘇生法の訓練をしたり、またところによっては、いわゆる消防団が昼間いないときのことを想定して、消防団の機械器具の取扱いを訓練したいということも出てきております。

自分たちの地区で何が一番問題なのかというのを確認していただいて、常に行動していただいて防災に備えるということが一番大事ではないかなと考えております。

答えになってるか分かりませんが、以上でございます。

【8番 甲斐 秀徳】

議長。

【議長 那須 富重】

8番、甲斐 秀徳 議員。

【8番 甲斐 秀徳】

防災訓練がなければ一番いいんでしょうけど。防災訓練じゃなくて非常がなけれ

ばいいんですけど。非常があった場合に、少しでも住民が慣れていればそれなりの対応ができるのではないかと考えております。

いつも消火栓ばかりでは、みんな安堵してくるのではないかとしたら、少し変わったメニューも取り入れていくといいと考えております。

またハザードマップのところ、またそれについても話をしたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。

最後に伺いますけれども、砂防の件についてです。

各砂防ダムがいろいろなところにあります。そのダムのところが、ほとんど許容量がいっぱいのところが多いのではないかと見ております。それで大丈夫かなと思うのですが、それについてはいかがでしょうか。

【町長 田中 秀俊】

議長。

【議長 那須 富重】

町長。

【町長 田中 秀俊】

私もはっきりと言いますか、治山ダムと砂防ダムという話で、出どころが違うという話であります。堆積土砂が埋まってどうかという話でございますが、私より建設課長が詳しいと思いますので、建設課長の方に答弁をお願いいたします。

【建設課長 佐藤 文幸】

議長。

【議長 那須 富重】

建設課長。

【建設課長 佐藤 文幸】

ただいまの御質問ですが、治山事業につきましては、崩壊している山林、荒廃している沢、谷を止める目的で治山事業を行う治山ダムを設置するという事です。治山ダムについては、山を止めるという目的で、どちらかという満砂になったときに効力を発揮するという事でありまして。

中には、河川上流に治山ダムを設けているところもあります。治山事業につきましてはそういう目的の一つです。

砂防ダムについては、溪流に流出した土砂をせき止め下流への土砂流出を防止する目的となっております。

砂防ダムが満砂になったら、下流域か上流域に設置する箇所があれば、設置をする目的でできると思います。これまでの経緯を見ると、満砂になったところは土砂上げをしたところもあります。

以上です。

【8番 甲斐 秀徳】

議長。

【議長 那須 富重】

8番、甲斐 秀徳 議員。

【8番 甲斐 秀徳】

砂防ダムというか、治山ダムがいっぱいのところは、上げたその砂利を再利用することはできるのですか。法律上は、どこかに埋めておいてという規制か何かあるのでしょうか。

【建設課長 佐藤 文幸】

議長。

【議長 那須 富重】

建設課長。

【建設課長 佐藤 文幸】

規制は特にはないのですが。残土処理として取り扱うときには、盛土規制法という法律が今できています。その時点で、規制がかかるということでもあります。

ストックする再利用、町道や林道の路面が掘れたときに利用するという目的では、県の河川でも今、砂利を上げていますが、了解を得ているところです。

【8番 甲斐 秀徳】

議長。

【議長 那須 富重】

8番、甲斐 秀徳 議員。

【8番 甲斐 秀徳】

近年、作業道や林道の舗装がされていないところが、非常に荒れているところがあります。その再利用をしていただければ、処理的にもすごくいいのではないかと考えております。よろしくお願ひしたいと思ひます。

次にハザードマップについて、お伺ひしたいと思ひます。

ハザードマップは住民の方々には、1家庭に1つずつ配っていると思うのですが。ハザードマップを配布したが、どこに置いたかということがやはり一番の問題ではないかと思ひます。どこかにかけておけばいいのですが、なかなか見る機会がない、説明もあまりありません。この説明を、何か機会を見つけてやったほうがいいのではないかと思うのですが、そういう考えはないかお伺ひしたいと思ひます。

【町長 田中 秀俊】

議長。

【議長 那須 富重】

町長。

【町長 田中 秀俊】

それこそハザードマップは大きなもので全部を網羅しており、小さくて見えない

という部分があります。ハザードマップを家に置いて、ちゃんと見ておくということも大切です。地域防災組織の中で、その地区だけを引き出して見るのが一番いいかなと。他のところを見るのもいいのですが、やはり自分のところが一番です。そうすることによって、どういう経路がいいのかなどが分かります。こちらも周知徹底させたほうがいいと思うところでもあります。

今は、防災ハザードマップを確認できるシステムを、美郷町のホームページに上げてます。その周知も足りないのかなと思っております。今後やはりそういうことで、しっかりと活用してくださいねと周知徹底を図っていきたいと思っております。

印刷物もですが、パソコンで見たり、その地区だけを印刷したり、そういう形でやっていったほうがいいかなと思っておるところでもあります。以上です。

【8番 甲斐 秀徳】

議長。

【議長 那須 富重】

8番、甲斐 秀徳 議員。

【8番 甲斐 秀徳】

この前、総務課へ行ってもらってきました。結構大きいんです。議員の方々は、説明資料の中にハザードマップを入れてありますので、御参照していただけるとありがたいと思います。

このハザードマップにはいろいろなことが書いてあります。地図上よりも、こちらの裏のほうが必要かなと。よく見ていただけるとありがたいかなと思います。

私がさっき言ったのは、防災訓練のときに、ハザードマップを活用しながら住民に自らの身の安全は自ら守るということを前提に、ソフト面の普及も必要ではないかと思います。防災訓練の計画に取り入れてもらうわけにはいかないかなと思いますが、いかがでしょうか。

【町長 田中 秀俊】

議長。

【議長 那須 富重】

町長。

【町長 田中 秀俊】

議員がおっしゃるように、防災訓練の際にいろいろな工夫をして、住民に理解するようにという話でございます。こういう訓練をしたらどうかと、こちらも積極的にお願いするというスタンスは取っていきたいと思っております。

【8番 甲斐 秀徳】

議長。

【議長 那須 富重】

8番、甲斐 秀徳 議員。

【8番 甲斐 秀徳】

私が13年前に同じ質問をこの場でしたことがあります。そのときは菊田町長で、今の町長は副町長だったと思います。そのときの答弁書まであります。

あの時点からインターネットで見れるようにはなっていたみたいですね。私も部分的に取り出しては見ています。2022年に見直しが行われているようです。今どういう状況にあるか、特に今年みたいに線状降水帯など大きく変わってきます。やはり見ておく必要があるのではないかと思いますので、そういう情報提供をもう少しやっていただくと非常にありがたいと思っております。

今後そういう機会があったら、例えば、区の総会のときでも一言でも言ってもらえると非常にありがたいと思いますが、いかがでしょうか。

【町長 田中 秀俊】

議長。

【議長 那須 富重】

町長。

【町長 田中 秀俊】

ありがとうございます。見直しと申しますか、ハザードマップを作って参考にしていくと。宮崎气象台があり、气象台が県北を一人一人、職員を割り当てているということでもあります。その人たちの知見も活用しながら、どういう形で起こり得る可能性があるかなどを聞いて、ハザードマップに反映できればと思っております。

ですが、あまりにも細かく作っても、やはり自分の命を守るのが基本で、どう逃げるかを周知徹底していくほうがいいという気がしてなりません。それと併せて、ハザードマップの見直しはやっていきたいと思っております。

以上です。

【8番 甲斐 秀徳】

議長。

【議長 那須 富重】

8番、甲斐 秀徳 議員。

【8番 甲斐 秀徳】

せっかくいいものを作っていただいております。絵に描いた餅ではいけないので、いろいろな場面で説明をしていただいて、住民が安全に避難がとれるようなにお願いしたいと思っております。

それでは3番の目の大雨時について、お聞きしたいと思っております。

延岡市議会の一般質問で、9名の議員が大雨災害について質問したと宮日に掲載されておりました。10月22日の大雨で土砂崩れにより1人が亡くなっております。多数の浸水災害が発生し、ある議員から大雨時に避難情報を高齢者等避難から避難指示へ切り替えなかったことなど、当時の市の判断に対する考えをただしました。

読谷山市長は、「气象台も予測できない大雨が降る中、避難指示の発令などを行うこととなれば、市民に車での移動を促すことになってしまい、さらなる甚大な被害

を引起しかねなかった」と説明しております。

当町の避難情報は、自主避難から避難指示までの4段階の決定はどのようにしているのかを、教えていただきたいと思います。

【町長 田中 秀俊】

議長。

【議長 那須 富重】

町長。

【町長 田中 秀俊】

いろいろな形で気象庁がレベル何という話の中で、最終的には災害対策本部になります。それを待ってたら動けないということだと思います。

気象庁はそういうかもしれないが、今これだけ雨が降る、そして明るい、移動ができる可能性がある。もう夜になって移動すればそういう話になります。

今回の場合、総務課長そして危機管理担当にその順番を早く出せと。1時間ぐらいうずらして、どんどん出せという対応をしてきたということでもあります。今後もそうしたいと。それも明るいうちに出すと。

結局、早い話が、レベル4の災害対策本部をポンと設けてもいいのではないかとということでもあります。

高齢者避難や準備情報とかそういうことではなく、1回準備情報を出して1時間後にはもう避難してくださいねという話をしたほうが。これは絶対、安全安心というか、命に直結するということでもあります。無視するわけではありませんけど、やはりそういう対応がいいと、私は思っております。今回話をして、早め早めに出せという対処をした覚えがあります。以上です。

【8番 甲斐 秀徳】

議長。

【議長 那須 富重】

8番、甲斐 秀徳 議員。

【8番 甲斐 秀徳】

これは町長の単独で行うのか、それとも危機担当の方々が集まってやるのかというのがちょっと知りたかったので、伺いました。

空振りでもいいから、大いに早め早めというのが、町長も日頃から言っております。それは十分に理解しております。だから、私も空振りでもいいと思います。もう起きてからではどうしようもないことが多いので、お願いしたいと思います。指示の出し方は、町長の単独で行うのか、それともみんなの合意の上で行うのか、お伺いします。

【町長 田中 秀俊】

議長。

【議長 那須 富重】

町長。

【町長 田中 秀俊】

全責任を取るという話の中で、市町村による危機管理の要諦を全市町村長はもらっていると思います。総務省から消防庁から出ております。

危機管理においては、トップである市町村長が全責任を負う覚悟を持って陣頭指揮を執るという話であります。全責任を委任されているということであれば、法律の何かをとということではなく、やはり自分の判断で町民を安全安心な方向に持っていくがために、それが遅れていろいろな人災とかそういうふうになったら、全責任をやはり市町村長が取らなければならないということに鑑みてみれば、法律は分かりませんが、そういう権限はあろうと思っております。以上です。

【8番 甲斐 秀徳】

議長。

【議長 那須 富重】

8番、甲斐 秀徳 議員。

【8番 甲斐 秀徳】

分かりました。大いに今後もそういう活動を、早めに住民のための行動を取るよう促していただきたいと思っております。

自力で避難することが困難な高齢者、乳幼児、被害者、いわゆる避難行動要支援者と呼ばれる人々の対応をどのようにするのか、またどのように把握するのかということを知りたいと思います。

要配慮者の避難指示体制は大丈夫かということも併せてお聞きしたいと思っております。

また外国人の方が結構、多くなっております。その方々に対する対応についても伺いたいと思っております。

【町長 田中 秀俊】

議長。

【議長 那須 富重】

町長。

【町長 田中 秀俊】

高齢者の方々ですが、要支援者につきましては年度当初に、健康福祉課から区長、そして消防団の部長さんにそれぞれの地区の名簿を渡しています。こういう方がいますということで。これは個人情報にもなりますので、しっかりとした扱い方をしてくださいねと。

それで漏れてる人もいるかもしれませんが、そこでまた確認してくださいという話です。要支援者がこの地区にはこれだけいますので何かあったらお願いしますという部分で情報を共有して、何かあったときにそこに消防団員が出向いて避難誘導をしていくという方法を取っています。

また、要支援者に対しては、地域包括支援センター等により介護施設の短期入所など早めに対応を取っていく必要があります、また実際に対応しているということであり

ます。

外国人ですが、そこは私は分かりませんので、総務課長が分かっていたら説明をお願いしたいと思います。

特にはないということで、外国人のうちの住民登録は、そんなに多くはないと思います。またその人たちは、ここに住んでいるから日本語はもう理解できているとは思いますが。議員がおっしゃるように、そこも注視してこの危機管理を進めていく必要があると思っています。外国人については対処してないというわけではなく、主に外国人向けは今のところないということでもあります。

【議長 那須 富重】

これは通告にありませんでしたので、答えられなかったと言っていいと思います。そこをちょっと注意しながら質問をお願いします。

答弁が終わりました。

【8番 甲斐 秀徳】

議長。

【議長 那須 富重】

8番、甲斐 秀徳 議員。

【8番 甲斐 秀徳】

通告にはなかったのですが、県の防災計画の中にはちゃんと明記してあります。高齢者、とりわけ一人暮らしや障害者、外国人等と言われる要支援者、日本語がしゃべられればれば問題ないのでしょうか。言葉が分からないと、避難をどこにしているのか分からないし、どういう対応を取っているのかが分からないので、やはりそこはサービスの根本ではないかと思っています。

それでは、最後に町長にお伺いしたいと思います。

ここに住民の責務というのがあると思います。これについて、町長はどう考えているか、お聞きしたいと思います。

【町長 田中 秀俊】

議長。

【議長 那須 富重】

町長。

【町長 田中 秀俊】

それぞれの立場で責務は出てくると思っています。災害が起こる前や起きたときには、よく共助と言います。互助ですかね。結局、いろいろな形でそちらが強いのかなと思っています。それぞれ責務がありますが、それを押しつけるわけではありません。町がしっかりとしたものを持って、こういうことをお願いしますという話がいいかなと思うところでもあります。

ボランティアなどの意識は6割ぐらい、皆さん持っている。でも実際にやったかというところ2割ぐらいしかない。やはりそういう意識の欠如、そういうのをしっかりと高揚していくための処置は必要かなと思っています。以上です。

【 8 番 甲斐 秀徳】

議長。

【議長 那須 富重】

8 番、甲斐 秀徳 議員。

【 8 番 甲斐 秀徳】

県の防災計画の中では「住民意識の変化と生活環境の改革は近隣扶助、意識の低下を招いている」と書いてあります。今後はそういうことを踏まえて、社会構造が変化しているということでもあります。そういうことも気にしながら防災、避難訓練などをやっていただければありがたいと思います。避難誘導も詰めて、よろしくお願ひしたいと思います。

それから、この前から問題になっていました延岡です。延岡が、デジタル避難を初めています。承知してますか。

いいです。これはスマホに避難のときの状況を全部入れて、その道を行ったら危ないなど今の現時点で動いてるところがはっきりしています。例えば、ブロック塀の横へ行くとブロック塀が倒れる可能性があるなど、避難をするときの道順の中に危ないなどが載ってるのが、延岡のデジタル避難の現状であります。

今後これが流行ってくるのではないかと思います。やはり非難の道順をちゃんと明記して、そういうことも踏まえて、携帯のデジタル化が今後出てくる可能性があると思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

それでは続けて、教育長にお伺ひしたいと思います。

町内も義務教育校が、3校となりました。幼稚園から9年生までの児童生徒に対する防災教育の現状について、教育長にお伺ひしたいと思います。

まずは、児童生徒の発達段階に応じた防災訓練はどのようになっているのか、お伺ひしたいと思います。

【教育長 大坪 隆昭】

議長。

【議長 那須 富重】

教育長。

【教育長 大坪 隆昭】

防災訓練につきましては、各学校の実態に、地域の実態に即してそれぞれで計画を立てられており、年間3回から多いところで6回実施されているようです。

そして、またその計画については毎年、学校から教育委員会のほうに報告されるようになっております。以上です。

【議長 那須 富重】

答弁が終わりました。

【 8 番 甲斐 秀徳】

議長。

【議長 那須 富重】

8番、甲斐 秀徳 議員。

【8番 甲斐 秀徳】

先に聞こうと思っていたのですが、学校全体の避難訓練を年に何回行うのかということに対しまして、3回から6回ということで非常に多いことで結構なことではないかなと思います。

防災に関する、ビデオの教材などはあるのでしょうか。

また、それがどのような防災教育を行ってるのかということについて、お聞きしたいです。

【教育長 大坪 隆昭】

議長。

【議長 那須 富重】

教育長。

【教育長 大坪 隆昭】

各学校の先ほど言いました防災訓練の中で、例えば、消防署などの協力を得ながら、DVDを借りて視聴したりという訓練もなされてはいるようです。具体的にいつ、どこでどうやったかということまでは、はっきり掴んでおりません。以上です。

【8番 甲斐 秀徳】

議長。

【議長 那須 富重】

8番、甲斐 秀徳 議員。

【8番 甲斐 秀徳】

避難訓練は主に地震対策を主としてるのか、それとも大雨などほかの災害をやっているのか、伺います。やはり地震対策のほうが多いのでしょうか。

【教育長 大坪 隆昭】

議長。

【議長 那須 富重】

教育長。

【教育長 大坪 隆昭】

やはり近年、報道関係などで全国的にも地震が増えております。例えば、美郷南学園におきますと、3回の地震の訓練を行っています。また、西郷義務教育学校については、令和4年度に災害が起きましたので、ビデオに撮ったものを見せて、風水害が起こった場合はこういう被害が起こるということも子供たちに周知して、十分気をつけていこうという呼びかけをしているようです。以上です。

【 8 番 甲斐 秀徳】

議長。

【議長 那須 富重】

8 番、甲斐 秀徳 議員。

【 8 番 甲斐 秀徳】

大災害が発生した場合でも適切な行動がとれるよう、より実践的な避難訓練はできるてるんでしょうか、そこをお伺いします。

【教育長 大坪 隆昭】

議長。

【議長 那須 富重】

教育長。

【教育長 大坪 隆昭】

実践的な避難訓練といいますが、風水害が一番大きいです。風水害のときには、例えば、1時間に20ミリ以上の激しい降水がある、そしてまた今後も同様に降り続くことが予想される場合、早めに保護者に来ていただいて、そして送ることになっています。訓練の中では、保育園と一緒にあって、そして、保護者に呼びかけて、来てもらって下校させるという訓練も実際、3校とも行われております。以上です。

【 8 番 甲斐 秀徳】

議長。

【議長 那須 富重】

8 番、甲斐 秀徳 議員。

【 8 番 甲斐 秀徳】

それから非避難誘導は高学年が低学年などの誘導を兼ねて行うのか、子供たち、児童生徒が共に、それとも学年ごとに避難するのか、分かりましたらお願いしたいと思います。

【教育長 大坪 隆昭】

議長。

【議長 那須 富重】

教育長。

【教育長 大坪 隆昭】

今回、調べて各学校から出していただいた内容によりますと、各学校で教育課程の中で、縦割りでグループをつくっています。そして、普段の活動をしている、日常の活動をしているところがあり、ファミリー班という呼び名をしています。そういう班で避難したり、あるいは学年で避難したり、つながりを持っているようです。

以上です。

【8番 甲斐 秀徳】

議長。

【議長 那須 富重】

8番、甲斐 秀徳 議員。

【8番 甲斐 秀徳】

私は幼稚園も含めてのことになるので、幼稚園生はどう避難するのかなと思っていたので。高学年の方々がそこに行って、1人ずつついて避難するのかなと思っていたので、質問いたしました。はい。分かりました。

それから、登下校の際の地震や大雨の対応についてをお伺いしたいです。

登下校の際に、もし起こった場合はどうするのか、をお伺いします。

【教育長 大坪 隆昭】

議長。

【議長 那須 富重】

教育長。

【教育長 大坪 隆昭】

登下校の際に起こった場合、そういうことも想定して登下校の中での訓練はないと思っております。いつ何どきそういうような災害、地震が来るかは分からないということで、通学路の安全地帯については、日頃から子供たちにどこに逃げたらいいいのか呼びかけるようにしているようです。避難場所を確認する、そういうことをやっているようです。以上です。

【8番 甲斐 秀徳】

議長。

【議長 那須 富重】

8番、甲斐 秀徳 議員。

【8番 甲斐 秀徳】

続けて、教職員の防災訓練の研修はどのようなことを行っているのか、お伺いしたいと思います。

【教育長 大坪 隆昭】

議長。

【議長 那須 富重】

教育長。

【教育長 大坪 隆昭】

教職員の防災訓練につきましては、職員だけの防災に関する研修会が中心になります。それ以上に、先ほど言いました避難訓練、年間3回から5回、6回の避難訓練を通した中で、反省したり、あるいは計画を立てる段階で、こうしたいいのではないかと職員間で共通理解を図っていると聞いております。以上です。

【8番 甲斐 秀徳】

議長。

【議長 那須 富重】

8番、甲斐 秀徳 議員。

【8番 甲斐 秀徳】

応急計画、そういうマニュアルはあるのかなと。

また、それにより対策の周知徹底は図られているのか、お伺いしたいと思います。

【教育長 大坪 隆昭】

議長。

【議長 那須 富重】

教育長。

【教育長 大坪 隆昭】

現在、質問のありました本町におきましては、応急教育対策計画という名前の策定はできておりません。

ただ、それに代わるものとして、美郷町の地域防災計画の中に第2編共通対策、そして第3章防災応急対策計画、17節の文教対策の中に学校教育対策という計画が立てられております。これが1つの応急教育対策計画に代わるものとして用意されているようです。

今回、議員から質問を受けまして、私どもも他の市町村の応急教育計画について勉強させていただきました。県内でこの計画があるところは見当たりませんでした。

県外の市町村のものを見ながら、勉強させてもらったのですが、より具体的な応急教育計画が必要であると考えております。

そこで、町の危機管理、先ほどから総務課で答弁が行われておりますが、危機管理と連携しまして、具体的な応急計画対策を作成してまいりたいと考えております。以上です。

【8番 甲斐 秀徳】

議長。

【議長 那須 富重】

8番、甲斐 秀徳 議員。

【8番 甲斐 秀徳】

いろいろなことをやっていただけると非常にありがたいかなと思います。

学校の関係は、美郷町の地域防災計画の中にもありますように、職員に対する防

災教育ということで、心肺蘇生法の指導研修会を通して指導者の資質向上を図るといふようなこともあります。そういうことも含めてやっていただければ、非常にありがたいと思っております。

それでは5番目の南郷北郷義務教育学校の周辺は高い急傾斜地になっており、部分的に土石流警戒区域急傾斜地特別警戒区域になっております。近年、頻発する台風豪雨また地震等に対して、避難訓練はどのように行われていますか。南郷、北郷それぞれの立場に立ってお答えください。

【教育長 大坪 隆昭】

議長。

【議長 那須 富重】

教育長。

【教育長 大坪 隆昭】

両校とも土石流など風水害に対応するため、保護者への引渡し訓練を実施しているところであります。

それから、美郷北義務教育学校は本年8月に汐谷川砂防堰堤の工事が完了したことで、急傾斜地区特別警戒区域を外れたという報告を受けております。

危機管理は重要でありますので、南学園それから北義務教育学校、両方共、早め早めの対応を取るよう指導はしているところです。以上です。

【8番 甲斐 秀徳】

議長。

【議長 那須 富重】

8番、甲斐 秀徳 議員。

【8番 甲斐 秀徳】

雨の中で避難するのは、非常に大変なことだろうと考えております。気をつけていただきたいなと思っておりますが、早め早めの避難を心がけていただくとありがたいかなと思います。

それと、両校共、学校周辺に河川がありますね。この河川が控えておりますので、今までそういうその問題はなかったのかなと。水が上がって、校庭にぎりぎりまで来るところに対して、どうでしょうか。

【教育長 大坪 隆昭】

議長。

【議長 那須 富重】

教育長。

【教育長 大坪 隆昭】

現段階でそういうような事例があったということは、まだ聞いていません。確かに川のすぐそばですので危ないといつも警戒をしているところです。以上です。

【8番 甲斐 秀徳】

議長。

【議長 那須 富重】

8番、甲斐 秀徳 議員。

【8番 甲斐 秀徳】

河川が両方とも控えております。もしもとということがあって、線状降水帯など先ほどから言っていますように、いつ何どき分からないことが多いです。そのことも踏まえていただきたいなと思っております。

避難マニュアル的なものは存在するのでしょうか。各学校によって違うのでしょうか。どうなんでしょうか。

【教育長 大坪 隆昭】

議長。

【議長 那須 富重】

教育長。

【教育長 大坪 隆昭】

立地条件が違ってきますので、各学校で当然、違っております。避難マニュアルは、各学校でそろえております。以上です。

【8番 甲斐 秀徳】

議長。

【議長 那須 富重】

8番、甲斐 秀徳 議員。

【8番 甲斐 秀徳】

私が気になってたのは、南郷は川もあるし後ろも山があります。校舎のほうは、逆に安全じゃないかと思えます。3階の高いほうが安全じゃないかなと思えます。北郷学園は分からないのですが。避難を、雨を待つというのも大変だろうし、また地震に対しても学校自体は強いから、そちらの方が安全じゃないかと思えますが、それに対しては問題ないのでしょうか。

【教育長 大坪 隆昭】

議長。

【議長 那須 富重】

教育長。

【教育長 大坪 隆昭】

当然、災害の内容によって変わってくるものであります。そのこともしっかり学校で判断して、確かに家庭に任せるよりは学校にいたほうが安全ということは十分

あります。そのことは、全体的に判断していきたいと考えております。以上です。

【8番 甲斐 秀徳】

議長。

【議長 那須 富重】

8番、甲斐 秀徳 議員。

【8番 甲斐 秀徳】

ありがとうございました。やはり学校は多くの児童生徒を踏まえておりますので気をつけていただきたいと思います。と考えております。

私の質問をこれで終わりたいと思います。ありがとうございました。

【議長 那須 富重】

これで、8番、甲斐 秀徳 議員の質問を終わります。

ここで10分間の休憩といたします。

11時10分より再開といたします。

(休憩：午前11時から午前11時10分)

【議長 那須 富重】

それでは、おそろいのようなので、休憩前に引き続き、一般質問を再開します。通告順に質問を許します。

1 番、若杉 伸児 議員の登壇を許し、1 問目の発言を許可します。

【1 番 若杉 伸児】

議長。

【議長 那須 富重】

1 番、若杉 伸児 議員。

【1 番 若杉 伸児】

本日は通告のとおり 3 問ほど質問を予定しております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

また、3 問目の質問は昨日、山本議員が関連の質問をされております。中身は多少、割愛して質問させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

まず初めに、空き家対策についてお伺いします。

私は常々、国道や県道沿いの農地が耕作放棄地になったり、またそれが荒廃している。また道路沿いの空き家が老朽化して廃墟化していく。それを見ると、この町は疲弊しているとか活気がないなど。俗に言う限界集落になりつつあるなど私は思うわけです。

また、この空き家というのは景観を損ねているというだけではなくて、台風のときに倒壊の恐れがあったり、また猫やイタチといった小動物の棲みかになったりネズミとか害虫の発生原因だったり、また異臭等の様々な社会問題にもなっております。それを踏まえて質問させていただきます。

町内には数多くの老朽化した空き家があり、その数も年々増えつつあると考えます。対応策は所有者によるものがまず第一ではありますが、町の基本的な考えをお伺いしたいと思います。

そもそも、行政に空き家を把握する義務があるのか。あるとすれば、どのような方策を取っておられるのか、お伺いします。

【議長 那須 富重】

町長の答弁を許可します。

【町長 田中 秀俊】

議長。

【議長 那須 富重】

町長。

【町長 田中 秀俊】

議員おっしゃるように空き家が増え、遊休農地が増え、そして寂しく思うということでもあります。悲観的にならなくて、やはり今ある現状をいかに続けていくかということ、皆さんとともに頑張りたいと思っております。

今の質問に対する答弁ですが、空家等対策の推進に関する特別措置法第 9 条に「市

町村長は空き家等の調査を行うことができる」と明記され、その権限は市町村長に委ねられており、把握することは義務ではないということでもあります。

ただ、平成25年度に空き家調査は実施されております。340戸が空き家という結果でした。その後は、調査は実施していませんので、平成25年の調査でありますので、増えてきたのかなと思うところです。

以上です。

【議長 那須 富重】

町長の答弁が終わりました。

【1番 若杉 伸児】

議長。

【議長 那須 富重】

1番、若杉 伸児 議員。

【1番 若杉 伸児】

今の説明、よく分かりました。

私はこの「ちくせん」事業の一環で、空き家バンク登録に取り組んでおります。

もともとの空き家はもちろんのことではありますが、住んでおられる方が亡くなったり老健施設等に入所されたり、子供やお孫さんと一緒に住むということで転居されると、様々なケースから新たに空き家となった場合、その住んでおった本人、もしくはその物件を管理している方に連絡を取っております。

実際、空き家物件として登録して整理したケースもございます。

また、建物が新しい場合には、盆やお正月また墓参り等にたまに里帰りして空気の入替えをするから、しばらくはまだ管理しますよという方もいらっしゃいます。

ただ、圧倒的に多いのが素人の私たちが見ても、もうこれはもう住居として手を成していない。もしくは相当な費用をかけてリフォームしなければならないだろうと思われる物件であります。

話を聞きよると、「税金ばっかりかかる」とか「取り壊してももいいが、経済的な面から」と言われる。相談事のように電話で言われる方もいらっしゃいます。

そこでお伺いしますが、空き家を取り壊す際には支援制度があると聞いております。この内容がどのようなものか、また、今までにどれくらいの実績があるのかをお伺いいたします。

【町長 田中 秀俊】

議長。

【議長 那須 富重】

町長。

【町長 田中 秀俊】

支援制度はつくっておりますが、まだ周知が足りないと思うところでもあります。美郷町老朽危険家屋等除去促進事業が、空き家を取り崩す支援制度であります。この詳細については、政策推進室課長に必要であれば説明をさせていただきます。

住宅の不良度の測定基準を満たし、審査会で通過した空き家が対象になります。「不良住宅」の補助率は5分の4で、上限80万円になります。倉庫や納屋、厩などの「その他建築物」については補助率2分の1で、上限40万円であります。

実績は、令和4年度は不良住宅2件、その他建築物2件、令和5年度は不良住宅2件、その他建築物2件、今年度は不良住宅1件の実績となっております。

上限を決めておりますので、今は壊すよりは産廃に持っていくお金がかかるということで、非常に足踏みをするのではないかと思うところです。以上です。

【議長 那須 富重】

町長の答弁が終わりました。

【1番 若杉 伸児】

議長。

【議長 那須 富重】

1番、若杉 伸児 議員。

【1番 若杉 伸児】

分かりました。私もこの解体費用の件よりも、その瓦礫が気になっておりました。少し聞いたことがあるのですが、解体費用プラス発生した瓦礫等の産廃処分料がとても高いと聞いております。様々な住宅のケースがあり、一概には言えないと思います。先ほど「審査がある」ということでしたので、見積り等も出すと思います。例えば、総工費がどれぐらいかかったとか補助金は80万円が上限だと思います。どれぐらいかかっているケースがあるのか、参考に教えていただければ非常に助かります。

【政策推進室長 田常 浩二】

議長。

【議長 那須 富重】

政策推進室長。

【政策推進室長 田常 浩二】

お尋ねの危険家屋等の除去に関する実績についてであります。

対象となるそれぞれの家屋の条件で、事業費は異なってまいります。

例えば、家屋の大きさ規模で産廃に出す処分量が変わってきます。解体作業時の重機やトラックがそこに容易に入ることができるかどうか等の立地条件、さらには家屋内に家財道具がまだそのまま残っているかなどによって処分費が大きく変わってまいります。

ちなみに令和4年度から今年度までの実績については、先ほど、件数については町長が述べたとおりであります。最小のものが事業費9万4千500円、うち補助金が7万5千600円、最大のもので、事業費が25万3千円で、うち補助費が上限額の80万円というのが実績でございます。以上です。

【議長 那須 富重】

答弁が終わりました。

【1番 若杉 伸児】

議長。

【議長 那須 富重】

1番、若杉 伸児 議員。

【1番 若杉 伸児】

説明、よく分かりました。

お伺いしたいのが、昨日、答弁の中で町長が「予算、予算と言われても」というお話でした。その中で、「3年ごとに事業で予算を見直すという考えがある」とおっしゃいました。今の事業費と工事費の割合を考えたときに、町長はその点どのようにお考えか、お伺いします。

【町長 田中 秀俊】

議長。

【議長 那須 富重】

町長。

【町長 田中 秀俊】

これは、予算の中で協議していききたいと思っています。産廃も含めた補助制度でありますので、1年の取壊し、上限が80万円であります。その実績が大きいので270万円ぐらいという話です。あと20万円ぐらい嵩上げができないかと。そして100万円ぐらいを上限にして組み換えられないかなという部分は検討しているところなんです。以上です。

【議長 那須 富重】

答弁が終わりました。

【1番 若杉 伸児】

議長。

【議長 那須 富重】

1番、若杉 伸児 議員。

【1番 若杉 伸児】

今の答弁、私もそれだから取り壊すのはどうかと思いますが、確かにそれも1つの要因になると思います。今後また検討していただければと考えております。

次に、先ほどから問い合わせしたときにいろいろ話があったようです。私は、今後そういった管理している人が納税義務者であったりすると思います。取壊しをしなければいけないといった判断をする場合に、いかに積極的に取り組んでいただけるかが一番だと思います。私も電話でもよく言われたのですが、1つの要因に課税、税金もやはりネックになっているようです。

聞いてみると、「税金ばかりかかる」とか「あんな家でも税金は当たり前にかかる」と言われます。

確かに、課税があるということは、その物件をもう取り壊さなければならないかなという判断材料の一つにはなるかと思います。

例えば、納税通知書などを発送する際に、町外の方で空き家を持ってる場合「このような物件でも税金がかかるのか」という具体的な問合せがあるのかどうか、お伺いいたします。

【町長 田中 秀俊】

議長。

【議長 那須 富重】

町長。

【町長 田中 秀俊】

納税通知書を出すときに、政策推進室よりいろいろなリフォームなどの案内文も一緒に入れていると思います。その中で、課税の部分は分かっておりませんので、その分は税務課長に答弁をさせていただきます。

【税務課長 川村 博昭】

議長。

【議長 那須 富重】

税務課長。

【税務課長 川村 博昭】

納税通知につきましては、二、三年前から課税通知と併せまして、政策推進室の事業、取組等についてのパンフレットを同封しております。

これは町外者のみならず、町内者の方にも家屋所有者だけでなく土地の所有者にも含めて通知しているところでございます。

また、固定資産税上の対象となる家屋でございますが、3つの要件を満たしている場合になっております。

1つ目が、外気分断性、いわゆる屋根や周壁などで外気を分断できる状態ということ。それから土地の定着性。これは簡単に移動ができない家屋です。もう一つが用途性で、家屋の目的とする用途に供し得る建物でございます。

空き家となっているということではなく、そういった3要件を満たしているか満たしていないかで課税の実態を把握するということです。納税者の方から問合せがあった場合は、その要件を話した上で理解を求めているところでございます。

あわせまして、そういった家屋の対象はどうにかならないのかということも昨今は増えております。そうした際には、議員がおっしゃいましたとおり地域に与える影響、それから管理不十分になった場合のリスク等を申し上げまして、必要に応じて、本町の政策を助言、指導しているところでございます。以上です。

【議長 那須 富重】

答弁が終わりました。

【1番 若杉 伸児】

議長。

【議長 那須 富重】

1番、若杉 伸児 議員。

【1番 若杉 伸児】

丁寧な、御説明ありがとうございました。

この課税があれば、先ほどから何度も言うようにどうかしなければならぬと考えると思います。多分、問合せもあると思います。

例えば、そういった場合に「もうそろそろ課税しなくてもいいのでは」そういった問合せがあったときに、実際、一緒に現場を見て説明することがあるのかどうか、お伺いします。

【税務課長 川村 博昭】

議長。

【議長 那須 富重】

税務課長。

【税務課長 川村 博昭】

実際の現場確認につきましては、売買相続等の登記情報、並びに未登記家屋の届出、それから補助事業等の取得情報、それから税務課自身を知り得た情報に基づいております。

議員がおっしゃいましたとおり納税者に直接、問合せがある場合もございます。それらの現場に立ちいって、現地確認をしております。県外者、町外・県外が年々増えているというのが実情がございます。現場に行って写真を撮って、それを折り返し現場に行って結果をお伝えしております。先ほど、答弁いたしました内容で御説明しており、全ての現場に立ち会えるケースというのは非常に少ないのが実情でございます。以上です。

【議長 那須 富重】

答弁が終わりました

【1番 若杉 伸児】

議長。

【議長 那須 富重】

1番、若杉 伸児 議員。

【1番 若杉 伸児】

分かりました。どう考えても、安易に要望があったからといって課税の対象から外しているということは考えられないと思います。何度も言いますように、やはり課税が行われておれば、どうかしたいという気もあると思いますので、今後も適正な課税の仕方をやっていただきたいなと思います。

次に、例えば空き家の老朽化が激しくて、もう倒壊寸前であるとか、先ほどの様々な理由によって近隣の住民から苦情が殺到した場合、もしくは様々な理由から、個人によって空き家の取壊しができない場合、行政としてどこまで立ち入ることができるのか、お伺いします。

【町長 田中 秀俊】

議長。

【議長 那須 富重】

町長。

【町長 田中 秀俊】

そういう空き家があるということで、周辺の家屋等に迷惑かけてるいる場合、空き家をどうするかという話であります。

結論から申しますと、空家等対策の推進に関する特別措置法があります。それに基づいて、一番究極的な話ですが、行政代執行ができるということであります。

流れとしましては、地域住民からの相談通報を受けた後に、現地及び所有者等の調査を行い所有者を特定いたします。

その後、判定基準による現地調査を行って、美郷町空き家等対策協議会にて、管理不全空き家等及び特定空家等に該当するか否かの意見を聴取し、町が認定を行うということになってます。

特定空家等に認定された場合、町が指導助言、そして勧告命令を行い、家主が措置を履行しないとき、履行しても十分でないとき、または代執行を行うことができます。

ただし、その要した費用はその所有者ということになります。この代執行するには、非常に勇気が要るということであります。

家屋ではありませんが、東九州自動車道ができたときに大分県でミカン畑があって、その人が土地を渡さないという話になっておりました。ここまで金を入れてきて、なぜここで曲がらないといけないかという話はしないということで、代執行したと。今、「この道路は公共事業で云々」という看板が立っていると思いますが、それが行政代執行だと思っております。以上です。

【議長 那須 富重】

答弁が終わりました。

【1番 若杉 伸児】

議長。

【議長 那須 富重】

1番、若杉 伸児 議員。

【1番 若杉 伸児】

行政代執行ですね。今言われまして、私もそういうのがあるのかなと思いました。

これをお伺いしたいのですが、実際にそこまでのことはなくても、この物件はどうにかなりませんかという問合せはしたことがあるのか、お伺いします。

【町長 田中 秀俊】

議長。

【議長 那須 富重】

町長。

【町長 田中 秀俊】

特定空家ということで、そこまで私は承知しておりませんので、政策推進室長に答弁をさせます。

【政策推進室長 田常 浩二】

議長。

【議長 那須 富重】

政策推進室長。

【政策推進室長 田常 浩二】

結論から申しますと、これまで特定空家、管理不全空き家に認定したという案件はございません。

ただし、住民から連絡のあった危険家屋につきましては、担当課において現場を確認します。そして、所有者へ連絡を取って適正な管理について促し、除却の制度の御案内することで解体や除去に結びついており、指導や勧告といった手続きまで進んでいないというのが現状でございます。以上です。

【議長 那須 富重】

答弁が終わりました。

【1番 若杉 伸児】

議長。

【議長 那須 富重】

1番、若杉 伸児 議員。

【1番 若杉 伸児】

そういったソフトな感じでやっていただければいいかなと考えます。それができていけばです。

今後は先ほど私が言いましたように景観、様々な社会問題が起きてきます。

またこの件に関しては、今後も定期的に状況を見ながら、また質問をさせていただきたいと考えております。よろしく願いいたします。

2問目の質問に移ってよろしいでしょうか。

【議長 那須 富重】

2問目の発言を許可します。

【1番 若杉 伸児】

それでは2番目に、ごみステーション、ごみ収集の紙には集積所と書いてありますが、ごみステーションについてお伺いします。

多分、執行部の方々にも写真が送っていると思います。ごみ収集所の写真があると思いますので、見ていただければいいかなと思います。

南郷地区には、ごみステーションとして町より貸与された金属製の「集積箱」、町では「収集ボックス」と呼んでいるようです。収集箱と地元住民で設置されたと思われる集積小屋の2点が存在しております。

その現状から、次の点をお伺いします。北郷、西郷地区においても同様の状況であるのか、お伺いします。

【町長 田中 秀俊】

議長。

【議長 那須 富重】

町長。

【町長 田中 秀俊】

北郷と西郷地区については、鉄製の集積籠がほとんどということであります。

【議長 那須 富重】

答弁が終わりました。

【1番 若杉 伸児】

議長。

【議長 那須 富重】

1番、若杉 伸児 議員。

【1番 若杉 伸児】

分かりました。今の資料の写真を見てもらおうと分かりますが、これはあくまでも各地域で設置しているものなので、形や大きさもばらばらで、新しいものもあれば古いものもあります。建て替えなければいけないものもあります。コンクリート張りの立派なものもや掘って建て小屋みたいなものもございます。

そもそも私がなぜこの質問をしようと思ったのかと言いますと、昨年1月、私の地区の収集小屋に隙間が空き、そこからネズミ等が入り始め、ごみ袋を食い散らしたり、ごみをまき散らしておりました。その度に、近所の方がまたごみ袋に入れ直したり、業者の方が片づけてくれるケースもございました。

そこで、これではいけないということで受益者が8人で大工さんをお願いして建て替え工事をしました。なるべく材料は持ち寄って、総工費で約4万円、正確に言うとうと3万9,460円でした。

大工賃が1日かかりました。明細は忘れたのですが、工事材料費が2万4,000円ぐらいだったかと思います。そこは8件しかないので、1件当たり5,000円徴収して直しました。

そのときに、8件のうち女性と子供だけの世帯が5件ありました。これは支払った後に、「これは何か、どうにかならなかったのか」という話が出ました。私も「そ

うですね。町に言ってみればよかったね」と話をしたところでした。

その後、私の地区で門田地区にやはり同じように老朽化した集積所があり、ここが建て替えたいということで、そのときにお願ひしました。

私のときも同様だったのですが、町には「今、こういうことに使う予算が組んでありません」と。それで、あのときは選挙ポスターの看板がありました。それが南郷支所にごさいましたので、それを利用して自分たちで建て替えてもらえないですかという要望でありました。

そのときは多分、もうそのままにして、今も使い続けているんじゃないか。多分悪い状態の写真の一つがそれではないかと思ひます。今後このような事案は、どんどん出てくるのではないかと思うので検討してほしひとお願ひしました。

そこでお伺ひします。現在、役場が対応している金属製の収集ボックスは1基幾らぐらいするものか。例えば、もう建て替えませんから、これをくださいと言ったときに、個別にそういう対応できるのかお伺ひします。

【町長 田中 秀俊】

議長。

【議長 那須 富重】

町長。

【町長 田中 秀俊】

ボックスの値段等々は私は熟知しておりませんので、担当課長から回答をお願ひいたします。

【町民生活課長 黒田 和幸】

議長。

【議長 那須 富重】

町民生活課長。

【町民生活課長 黒田 和幸】

金属製のかごの値段であります、私も今、資料を持っておりませんが。担当に聞きましたら、1基が10万円弱という金額だったと思ひます。以上です。

【議長 那須 富重】

答弁が終わりました。いいですかね。

【町民生活課長 黒田 和幸】

議長。

【議長 那須 富重】

町民生活課長。

【町民生活課長 黒田 和幸】

役場で、今の収集場所は決まっております。そういった相談をしていただければ、

こちらで協議などで対応できると考えております。以上です。

【議長 那須 富重】

答弁が終わりました。

【1番 若杉 伸児】

議長。

【議長 那須 富重】

1番、若杉 伸児 議員。

【1番 若杉 伸児】

実は私、事務局にお願いしまして、平成25年度予算書を調べていただきました。その年の当初予算で、15基、141万3,000円の予算が計上してありました。

事業の目的としては、高齢者にも扱いやすい観音開き式の集積ステーションを作成し、老朽化したものと取り替えるという説明であります。

多分、この時期辺りに西郷地区、北郷地区は予算を組んで集中して変えていったのではないかと私なりに推測しているところでございます。

実際、個別の案件については、随時また要望していただければ対応していきたいということでございました。例えば逆に、「今までの集積ボックスをそのまま使いたいのぞ」という要望があった場合、工事費などの負担金等について対応できるのかどうか、お伺いします。

【町長 田中 秀俊】

議長。

【議長 那須 富重】

町長。

【町長 田中 秀俊】

私も知らなかったのですが、過去にそういう予算を組んだことがあるなあと。一度にはできないから、年次計画でという話でやってきたと。

今、議員がおっしゃる集積小屋は、動かないということでありまして。今後を考えると、集積小屋がいいのかという話になります。例えば、お年寄りが増えて、このボックスを移動させたほうがいいのかという話になると、集積小屋は固定ですので動かないということになります。それをどうするかという話になると、修理すればずっと使うということでありまして。老朽化して雨漏りもするからという話になれば、やはり北郷、西郷のような形で少し重いのですが、そういう方向性を持たせたボックスに変えていったほうがいいのかと思うところであります。以上です。

【議長 那須 富重】

答弁が終わりました。

【1番 若杉 伸児】

議長。

【議長 那須 富重】

1 番、若杉 伸児 議員。

【1 番 若杉 伸児】

その点に関してなのですが、実はこの質問をするに当たって、ごみ収集業者に「おまえ、何聞いてくれたか」と言われるといけないと思ったので、事前に南郷の収集業者の方にこの話をしました。

そうしたら、これは個人的な話です。収集ボックスはあっても、実際には使われていない、ほとんど使われていないということでした。

また、仮に順次、収集ボックスに変えてもらっても戸惑いがあるという話でした。これはマナーとか、町のごみ出しのルール、これは正しい、正しくないとは別として考えていただきたいと思います。

集積小屋は造りも割と大きくしっかりしており、雨除け対策も十分なものがあります。私も写真を撮ってもらったとき気づいたのですが、様々なごみと一緒に出されているケースがあります。空き缶、空き瓶、ペットボトル、プラスチックごみ、それから古紙、古布が可燃ごみと一緒に出されている場合があります。

しかし、業者の方は、その日に出すごみを持って出るから問題ないそうです。そんなにたくさん出てないそうです。

逆に収集ボックスが変わった場合、雨降りに濡れたごみを回収する方が嫌だと言っていました。多分、これは他の職員も一緒だろうと言っておりました。

また逆に、収集ボックスにしますと大きさが限定されます。他のごみが出せない、その日に出すごみしか出せない。これは当然のことなのですが、それが今度は前もって出せないんですね。利用者にとっては、今までと違って前もって出すことができない。今が言わば「win・win」の状態です。

今後この問題は、高齢化してきたら立て直す場合、例えば今まで1万円負担していたものが2万円、3万円になったりします。

例えば、材料を持ち寄って作っていたのが、今度は男の人達や若い人達がいなくて、作る人もいなくなった場合、業者をお願いしないといけないと。そうするとまた工事費も上がってしまいます。

かといってこれを収集ボックスに変えましょうと言っても、業者の方が嫌がるかもしれません。今までの慣例から自分たちで作るということもあるかもしれません。

これは私の提案なのですが、南郷地区の例えば、区長会や組合長さん、これ多分設置してある箇所を見るとほぼ組合単位で設置しているようです。区長会を通じて組合単位でアンケートなどを採って、今後この集積ボックスに変えるのか、収集小屋をこのまま使い続けるのか。またその場合には、負担金をどうするのか、町が負担してくれるのか、地元が負担しなければならないのか、十分に協議して区長会等に提案していただいて、それから方策を考えるのも手ではないかと考えます。そのことについて、執行部のお考えをお聞かせください。

【町長 田中 秀俊】

議長。

【議長 那須 富重】

町長。

【町長 田中 秀俊】

私は西郷にいますので、今は収集ボックスです。その日に出さなければならないごみは1年間計画が出ており、その日にごみが回収され箱が空になっているという状態であります。

この小屋に持ってきておいて、それを選別して持っていくという方法を南郷ではやっているということでもあります。ごみステーションって何かなと思っております。

きれいにするためにはその日、その日に回収された方が一番よかろうと思っております。それは雨によって濡れたりするかもしれませんが、そういうことで委託している衛生公社にお願いしています。北郷、西郷はこのままいきたいと思っております。

議員がおっしゃるように、「聞いてみてください」と言うなら、そういう提案をしてという話の中で、この小屋を残してほしいのか、その小屋の補修をどうするかという部分は検討していきたいと。

それなりにメリット・デメリットがあったとしても、ごみの収集という部分は統一はできないかなと思うところでもあります。

議員が提案しましたように、1回聞いてみたいと思うところでもあります。以上です。

【議長 那須 富重】

答弁が終わりました。

【1番 若杉 伸児】

議長。

【議長 那須 富重】

1番、若杉 伸児 議員。

【1番 若杉 伸児】

ありがとうございます。私もその質問する前に言ったとおりマナー等のことを考えれば、これはおかしいと言えればおかしいです。

もしアンケートを区長さんを通じて、意見の収集をして検討していただければと考えておりますので、よろしく願いいたします。

前回9月の定例議会において、西郷下区の請願が採択されました。下区の谷口地区のごみ収集について、取り上げられておりました。

その後、関係者の方には話を聞いたのですが、新たな収集ボックスができたということで非常に感謝しておりました。

当時の状況の説明で、以前は行われなかった谷口地区へのごみの収集が途絶えてしまったとか、町外在住の子供が帰省したときに、持って帰ってごみを捨ててくれたという問題点が提示されておりました。

しかし、これは西郷下区による問題提起であったと考えます。私たちの地区、それ以外の地区も、今後高齢化等によりこういった問題は波及してくるのではないかと考えます。

そこでお伺いしますが、今後、高齢化に伴いごみステーションに持ち込むこと自体も厳しくなると推測されます。今現在、ごみ収集は業者に委託しておりますが、また新たに箇所を設置すること、もしくは、戸別回収等が今後、可能であるのか、お伺いいたします。

【町長 田中 秀俊】

議長。

【議長 那須 富重】

町長。

【町長 田中 秀俊】

非常に問題かなと思っております。

今、設置箇所数が314か所という話であります。これを増やしていくのか、それとも今度は回収していくのかということで、また委託料が非常に嵩んでくるということになります。

本当に高齢化社会に対応するという部分もありますが、今どういう形になっているのかという部分をしっかりと見ていかなければならない。

また、このボックスの設置基準もしっかりとしたものを作って対応する必要があるのかなど。

例えば、何件以上という話になってきたときに、非常に難しい問題になるかなど。

今、314か所と言いましたが、その収集依頼をしております。戸別収集になると非常に難しくなってくるのではないかと考えております。あくまでも高齢者があまり骨折らないというか、そういう方法があるか今後の検討ということで、担当課と協議していきたいなと思うところであります。以上です。

【議長 那須 富重】

答弁が終わりました。

【1番 若杉 伸児】

議長。

【議長 那須 富重】

1番、若杉 伸児 議員。

【1番 若杉 伸児】

私は今の件で、谷口地区の関係者の方とお話をさせていただきました。

今度、新たに設置していただいた場所も、谷口地区は4件らしいです。4件の受益者ですが、今の場所まで車で25分ぐらいかかるところに設置してあるそうです。

私、「なんでそんなところに設置したのですか。もっと近くはなかったのですか」と聞いたら、これは地域の住民と話し合いをして、ここでいいですということで決まったことだそうです。どうせその道を通って下に下りないといけない、車を持っていない人は、誰かが持って行ってくれると、それでいいですという話でした。

私は「皆さんが了解していただければ、それでいいですね」と言ったら、実際、戸別に収集していただけないかということも考えたそうです。

しかし、それはあまりにも負担がかかり過ぎるだろうということで、これでどうでしょうかという話で落ち着いたと伺いました。

このことは、これから先のごみ収集に関する新たな問題提起になっているのではないかと考えております。今すぐに、その戸別収集してくれということは申しません。

ただ、今後、そういうことが来るかもしれないということを前提に、また協議していただければと考えまして、この質問を終わらせていただきます。

では3問目の質問に移ってよろしいでしょうか。

【議長 那須 富重】

3問目の発言を許可します。

【1番 若杉 伸児】

3番目に文化伝統芸能の継承活動について、質問させていただきます。

当初にも申したとおり、この件は昨日、山本議員が関連で質問されております。

特に、(1)に関してはもう具体的に聞かれておりますので、私は要点だけ1つお伺いしたいと思います。

昨日、この無形文化財保存の映像化について、山本議員が質問された際に、多分、教育長は「できるだけ応えるようにする」と答弁されたと記憶しています。

私も具体的に聞きたいのは、令和5年度から始まった事業です。事業費から考えて、1団体が映像に残せる予算かなと考えております。

昨日の説明にもあったとおり、かなりの団体が残っております。継承が厳しくなるところは1年、2年でもう変わってしまうということもあるかもしれません。もう優劣がつけ難いような団体が出てくれば、2団体、3団体の予算までつけてもらえるといいのですが、具体的にになりますが、どうでしょうか。

【教育長 大坪 隆昭】

議長。

【議長 那須 富重】

教育長。

【教育長 大坪 隆昭】

大変ありがたい質問をしていただいて、本当に助かっております。昨日も山本議員のときにも答弁させていただきました。

指定団体が23団体ございます。その中で、もう既に映像が終わっているもの、かなり古いDVDなのですが7団体あります。このペースで行きますと、全て撮るだけで十数年かかってしまいます。そこまで持つかということも大変、危惧される場所でもあります。できるだけスピード感を持って、例えば2団体とか、それだけの事業を拡充していくという計画を今、立てているところがございます。そのような対応をして、少しでもペースを上げていきたいと考えているところです。

また、町単独の事業以外にも、県や国、あるいは民間団体の助成事業等の活用を図りながら、地域の貴重な伝統芸能の映像保存について取り組んでまいりたいと考えてるところです。以上です。

【議長 那須 富重】

答弁が終わりました。

【1番 若杉 伸児】

議長。

【議長 那須 富重】

1 番、若杉 伸児 議員。

【1 番 若杉 伸児】

前向きな御回答ありがとうございました。今後よろしくお願いたします。

次に 2 番目になりますが、町内各地の臼太鼓神楽、浦安の舞保存会の多くは、伝統的郷土芸能保存事業の対象となっており活動費も補助金が出ております。

しかし、同様に継承が厳しくなっている盆踊り保存会、これも調査していただいて、対象化できないか、お伺いたします。

【教育長 大坪 隆昭】

議長。

【議長 那須 富重】

教育長。

【教育長 大坪 隆昭】

現在、先ほど言いましたように 2 3 の伝統芸能保存団体を認定しているところがあります。

内訳としましては、神楽が 8 団体、臼太鼓が 6 団体、浦安の舞が 4 団体、舞踊が 2 団体、そして練り踊りが 1 団体、さらに盆踊りも 2 団体、指定しております。

議員の御指摘のとおり、ほかの大盆踊りの保存会についても積極的に調査していきたいと考えております。

伝統芸能保存団体認定申請書が教育委員会ございますので、そちらを教育委員会に提出していただければ、それに合わせてその他の伝統芸能保存団体の掘起こし等にも努めてまいりたいと考えております。以上です。

【議長 那須 富重】

答弁が終わりました。

【1 番 若杉 伸児】

議長。

【議長 那須 富重】

1 番、若杉 伸児 議員。

【1 番 若杉 伸児】

ありがとうございます。そういうことであれば、またこの盆踊り保存会など進めていきたいと思えます。

実は、盆踊り保存会は毎年 8 月 15 日に南郷地区では百済の里 いたごろ祭りというのが行われております。これは各自治公民館単位なのですが、俗に言う「タナ」です。太鼓、三味線、唄は「口説き」と言います。それと囃子の踊り、この 5 つで構成して参加しています。以前、私が記憶しているのは各公民館単位で、4 年か 5 年に一度回ってきていました。

ところが最近は、もう去年と今年は渡川地区は 2 年続けて出ました。「去年も出た

よ」と言ったら、「もう他のところは人がいないので、出てほしい」という説明でありました。それだけ厳しくなっているようでございます。

これは少し関係ないのですが。昨日、山本議員が「どういった優先順位で決めているんですか」と質問されたときに、昨年、私の地区の盆踊りが採用されました。私が訴えたのは、盆踊りは「いだごろ」だけではなく「たかなべ」もあります。

多分「いだごろ踊り」というのが小丸川水系の踊りかなと思っており、この「たかなべ」というのは高鍋町の「たかなべ」であります。

この「たかなべ」と「いだごろ」は、大概セットになっております。私の地区の渡川中区では「たかなべ」から「いだごろ」に移行します。

これは太鼓で調子を変えるだけで、あとは自然に流れが変わります。

逆に、渡川の下区は「いだごろ」から「たかなべ」に変わります。

私は聞いたことあるのですが、鬼神野や神門、日向市東郷町では、この「たかなべ」まで知っている方がいます。私の地区は「たかなべ」までやりましたと。踊ったことがありますとか、見たことがありますという方がいらっしゃいます。

この渡川地区はこの「たかなべ」「いだごろ」と別に、「ひょうご」「ながはま」「一つ拍子」「二つ拍子」という盆踊りまでございます。

副町長は御存じかもしれませんが、「してな」というのがありました。これは残念ながら継承者がいなくて、「してな」はもう音響で残っているだけです。これは非常に残念です。

そこのところを訴えまして、もう継承が難しくなっているのを、渡川の盆踊りを取り上げてくれndらうかと言って、採用していただいたケースがございます。

その点を踏まえてお願いしたいのですが。今後、こういった継承活動を続けていく上において、学校行事、学校教育で文化伝統を授業に取り入れて、これは以前も質問したことがございます。その点もう一度、お願いしたいところなのですが、どのようなものでしょうか。

【教育長 大坪 隆昭】

議長。

【議長 那須 富重】

教育長。

【教育長 大坪 隆昭】

学校教育に限らず共同芸能活動は、ふるさとに誇りを持つなど郷土愛の醸成を図る上で最も重要なものだと考えております。

現在、西郷では上野原臼太鼓踊りと若宮神楽、それから美郷南学園ではいだごろ踊りや禎嘉王ダンスを教育課程内に位置づけて、地域の方々を指導者として学校に招聘して練習しているところです。

また、美郷北においては、児童生徒が地域の中に入って練り踊りや神楽、浦安の舞などに参加するなどを伝統芸能の伝承に協力しているところでもあります。

今後とも、地域と学校が一緒になって地域を愛する子供たちを育てるという教育の一環として、このようなことに積極的に取り組んでまいりたいと思っております。

ちなみに先ほど言いました昨年、一昨年、撮りました渡川地区の盆踊りは、4Kで撮っております。これまで撮ったDVDと全然比べ物にならないくらいきれいです。先ほど紹介のありました踊りを全てダイジェストで紹介するようなどころもあ

り、見る価値の非常に高い内容になっております。どんどん広めていき、また今後
も臼太鼓とかに広げていきたいと考えております。以上です。

【議長 那須 富重】

答弁が終わりました

【1番 若杉 伸児】

議長。

【議長 那須 富重】

1番、若杉 伸児 議員。

【1番 若杉 伸児】

ありがとうございます。私からも補足させていただきますが、12月1日に行われ
ましたひえちぎり唄全国大会。余興の1つ、アトラクションとして渡川ひえちぎ
り保存会がひえちぎり踊りを披露します。

ちなみにこれは渡川「ちくせん」参加しております。ちなみに去年から美郷南学
園の女子生徒が1人、このひえちぎり踊りの中に加わっていただいております。

また先日、南学園の教育指導員の方を通じて学校の先生からお願いがありまして、
音楽の授業の一環で、「しの笛」横笛の指導をしていただけないでしょうかという問
合せがございました。渡川神楽保存会で来週と再来週、2週にわたって4年生の横
笛の授業に参加することにしております。

教育長に個人的にお願いしたことがあります。美郷南学園の運動会で、いだごろ
踊りを実施しております。現在はアレンジしたテープでやっております。以前は、
先ほど言ったように公民館単位で、実際に生で演奏しておりました。父兄も今の参
加が学園になって厳しいのですが、これは夢なんです。太鼓、三味線、口説き、囃
子、これをぜひ生徒たちでできないものかなど。やっている父兄がおりますので、
その子供さんたちもいらっしゃいますので、何とかやっていけないかなあと考えて
おります。

先ほど言いましたように、今後も授業の中に大いに取り入れていただいて、文化
継承につながればと考えております。今後ともよろしくお願いいたします。

以上をもちまして、私の質問を終わらせていただきます。

【議長 那須 富重】

答弁はいいですね。

【1番 若杉 伸児】

あれば。

【教育長 大坪 隆昭】

議長。

【議長 那須 富重】

教育長。

【教育長 大坪 隆】

せっかくでございますので。

先ほどから出されておりますその「しの笛」「横笛」につきましては、二十数年前に和楽器の指導が中学校の音楽の授業の中に入りました。中学校の音楽の先生はピアノやバイオリンは弾けるけれども、和楽器が弾けない。三味線などの指導ができないということで、和楽器の指導にかなり力が入りました。そういった中で、「しのふえ」「横笛」といったものを各学校で取り入れられるようになってきております。

授業の中でも実際できるのではないかと考えております。運動会についても同様に取り組んでまいりたいと考えております。以上です。

【議長 那須 富重】

これで1番、若杉 真司 議員の質問を終わります。

以上で、本日の日程は全部終了しました。

次は、明日は午後3時に本会議を開きます。時間を間違えないようお願いいたします。

【議長 那須 富重】

本日はこれにて散会いたします。

【事務局長 沖田 修一】

「一同起立・礼」・・・お疲れさまでした。

(散会：12時01分)

令和6年第4回定例会

美郷町議会会議録(第4号)

令和 6年12月11日

美 郷 町 議 会

令和6年第4回美郷町議会定例会会議録（第4日目）

令和6年12月11日（水曜日）

◎開会日時 令和6年12月11日 午後3時00分 開会

◎閉会日時 令和6年12月11日 午後3時36分 閉会

◎出席議員（10名）

1番 若杉 伸児 君	2番 早川 節夫 君
3番 中田 武満 君	4番 兒玉 鋼士 君
5番 山本 文男 君	6番 中嶋奈良雄 君
7番 川村 嘉彦 君	8番 甲斐 秀徳 君
9番 川村 義幸 君	10番 那須 富重 君

◎欠席議員 なし

◎欠 員 11番 小路 文喜 君

◎事務局職員氏名 事務局長 沖田 修一 君 書記 川西ゆきみ 君

◎説明のための出席者職氏名

町長 田中 秀俊 君	副町長 藤本 茂 君
教育長 大坪 隆昭 君	会計管理者 泉田 浩文 君
総務課長 甲斐 武彦 君	税務課長 川村 博昭 君
企画情報課長 田村 靖 君	町民生活課長 黒田 和幸 君
健康福祉課長 海野 勝弥 君	建設課長 佐藤 文幸 君
農林振興課長 松下 文治 君	政策推進室長 田常 浩二 君
教育課長 鎌田 次郎 君	地域包括医療局事務長 田原 裕亮 君
南郷地域課長 田中 幸生 君	北郷地域課長 長田 孝規 君

◎会議の経過 別紙のとおり

令和6年第4回美郷町議会定例会 議事日程（第4）

令和6年12月11日
午後3時開議

- 日程第1 議案 第78号 工事請負契約の変更について
質疑、討論、採決
- 日程第2 議案 第79号 美郷町一般職の任期付職員の採用等に関する条例
質疑、討論、採決
- 日程第3 議案 第80号 令和6年度美郷町一般会計補正予算（第7号）
質疑、討論、採決
- 日程第4 議案 第81号 令和6年美郷町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）
- 日程第5 議案 第82号 令和6年度美郷町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）
- 日程第6 議案 第83号 令和6年度美郷町国民健康保険診療所事業特別会計補正予算（第2号）
- 日程第7 議案 第84号 令和6年度美郷町国民健康保険病院事業会計補正予算（第3号）
- 日程第8 議案 第85号 令和6年度美郷町簡易水道事業会計補正予算（第2号）
- 日程第9 議案 第86号 令和6年度美郷町農業集落排水事業会計補正予算（第2号）
一括質疑、一括討論、個別採決
- 日程第10 議案 第87号 美郷町議会の議員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例
- 日程第11 議案 第88号 町長等の給料及び旅費に関する条例の一部を改正する条例
- 日程第12 議案 第89号 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- 日程第13 議案 第90号 美郷町第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
一括質疑、一括討論、個別採決
- 日程第14 議員派遣について
- 日程第15 閉会中の委員会活動の申し出について

令和6年第4回美郷町議会定例会
議事日程（第4の追加1）

令和6年12月11日
午後3時開議

日程第1 議案 第91号 令和6年度美郷町一般会計補正予算（第8号）
提案理由説明、質疑、討論、採決

会 議 録

令和6年12月11日
午後3時開議

【事務局長 沖田 修一】

「一同起立・礼」・・・お疲れさまです。・・・御着席ください。

【議長 那須 富重】

改めまして、こんにちは。

本日は令和6年の最後の定例会であります。締めくくりにふさわしい議会に持っていければと思いますので、よろしくをお願いします。

ただいまの出席議員は10名であります。

これから、本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付の議事日程表のとおりであります。

上着を脱ぎたい方は脱ぐことを許します。

日程第1 議案第78号 工事請負契約の変更についてを議題とし、質疑を行います。

質疑を許します。質疑はありませんか。

(「なし」との声あり)

質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

これから、討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」との声あり)

討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから、議案第78号の採決を行います。

この採決は起立によって行います。

本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起立全員)

起立全員であります。

したがって、議案第78号は原案のとおり可決されました。

日程第2 議案第79号 美郷町一般職の任期付職員の採用等に関する条例を議題とし、質疑を行います。

質疑を許します。質疑はありませんか。

(「なし」との声あり)

質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

これから、討論を行います。
討論はありませんか。

(「なし」との声あり)

討論なしと認め、これで討論を終わります。
これから、議案第79号の採決を行います。
この採決は起立によって行います。
本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起立全員)

起立全員であります。
したがって、議案第79号は、原案のとおり可決されました。
日程第3 議案第80号 令和6年度美郷町一般会計補正予算(第7号)を議題とし、質疑を行います。
質疑を許します。質疑はありませんか。

【4番 児玉 鋼士】

議長。

【議長 那須 富重】

4番 児玉 鋼士 議員。

【4番 児玉 鋼士】

本来ならば委員会において質問をすべきでしたが、質疑の議題は事件について疑義をただすものということでございますので、質問いたします。

まず最初に、健康福祉課で老人ホームの運営費予算書17ページですが、運営費の社会福祉施設費の5万7,000円等を計上してあります。これは清翠園の建物も半世紀以上を経過しており老朽化が進んでいると考えるところです。

あとどのくらい持つのか、老朽化にもいろいろあると思います。この老人ホームの再建の検討委員会が8名で開催されたということでもあります。会合において、具体的にどのような話がされたのか、内容などをお聞きしたいと思います。

【健康福祉課長 海野 勝弥】

議長。

【議長 那須 富重】

健康福祉課長。

【健康福祉課長 海野 勝弥】

今の児玉議員の質問についてお答えしたいと思います。

検討委員会については、まだ開催されておられません。今度の補正をもって、一応3月ぐらいに開催する予定としております。

先ほども言われたとおり、もう老朽化が進んでおり、これから先、建設をどうす

るかということを検討委員会でやっていきたいと思っております。以上です。

【4番 児玉 鋼士】

議長。

【議長 那須 富重】

4番 児玉 鋼士 議員。

【4番 児玉 鋼士】

まだ一応、計上されているけど、今からどのくらいの建設費がかかるとか、そういうような感じのこともいつ頃に、再建設するかとかそういうことも全然、話はなかったということですね。分かりました。

【議長 那須 富重】

他に質疑はありませんか。

【5番 山本 文男】

議長。

【議長 那須 富重】

5番 山本 文男 議員。

【5番 山本 文男】

眼鏡を忘れて町民生活課からお借りしました。

スカイロジック銀河村のことについて、お伺いします。

凍結によってひびが入って水が漏れているようです。このことに対する予防策は講じてなかったのか、厳冬期に入ると水道を止めたりすることにもなると思います。使えなくなることもあると思いますが、今までくみ取り式であったものを撤去することになって、あの地区にはキャンプ場のトイレしかありません。そうした場合、トイレはどこを使ってもらうのか、お伺いいたします。

【北郷地域課長 長田 孝規】

議長。

【議長 那須 富重】

北郷地域課長。

【北郷地域課長 長田 孝規】

今回は、補修の分の補正であります。その原因といいますか、凍結防止の対策は設備的には行っておらず、人的に対応していた言わば水抜き、止水をして対応していたところなんです。そういった対応を怠っており、数年前からそういった状況にありました。今年それが見積りとして分かったというところでもあります。

苛酷な環境にある施設の管理として町が対応するべきと判断して予算計上したものであります。

中小屋の県道沿いにありましたトイレを解体するに当たりまして、スカイロジック

銀河村のトイレ等を公衆用トイレとして使用していただけるようにします。まず本年度の観光施設管理運営に係る工事におきまして、「トイレ有り」の表示を入れたキャンプ場施設の案内看板を、県道沿いとキャンプ場入り口の4か所設置したところでもあります。

そして、御指摘の冬季のトイレの使用についてです。各ロッジにつきましては、12月から3月中旬におきましてオフシーズンに当たるということで、止水して凍結防止対策を図ることとしております。

また、管理棟とトイレ棟につきましては、指定管理者、施設管理人の方が天候に応じて対応しまして、できる限り使用が可能な状態にしていくことを確認しております。

今期は、今申し上げましたとおり指定管理者が対応することとなりますが、管理業務の軽減と利便性の向上を図る上で、配管用ヒーターを整備するなど、凍結防止の対策を検討したいと考えております。以上です

【5番 山本 文男】

議長。

【議長 那須 富重】

5番 山本 文男 議員。

【5番 山本 文男】

止水などで凍結防止策を講じると思いますが、管理人は週何回おられるでしょうか。管理人が不在の場合は、もう使えないということですか。

【北郷地域課長 長田 孝規】

議長。

【議長 那須 富重】

北郷地域課長。

【北郷地域課長 長田 孝規】

今現在、管理人は火曜日、水曜日が休みになっており、それ以外はキャンプ場に足を運ぶことになっております。12月、1月、2月、3月におきましては、天候に応じて気温が急激に下がる、寒波が訪れるようなときには、定休日にこだわらず場内に立ち入っていただいて対応していただくということで確認はしております。

冬季期間中は不定期になる対応となると思います。以上です。

【5番 山本 文男】

議長。

【議長 那須 富重】

5番 山本 文男 議員。

【5番 山本 文男】

分かりました。加えて、キャンプ場のトイレを利用される方がどれぐらいいらっ

しゃるのか、その辺も分かる範囲で調べてもらおうといいかなと思います。よろしく
お願いします。私の質問を終わります。

【議長 那須 富重】

他に質疑はありませんか。

(「なし」との声あり)

質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

これから、討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」との声あり)

討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから、議案第80号の採決を行います。

この採決は起立によって行います。

本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起立全員)

起立全員であります。

したがって、議案第80号は原案のとおり可決されました。

日程第4 議案第81号 令和6年度美郷町国民健康保険事業特別会計
補正予算(第3号)

日程第5 議案第82号 令和6年度美郷町介護保険事業特別会計
補正予算(第2号)

日程第6 議案第83号 令和6年度美郷町国民健康保険診療所事業特別会計
補正予算(第2号)

日程第7 議案第84号 令和6年度美郷町国民健康保険病院事業会計
補正予算(第3号)

日程第8 議案第85号 令和6年度美郷町簡易水道事業会計補正予算(第2号)

日程第9 議案第86号 令和6年度美郷町農業集落排水事業会計
補正予算(第2号)

お諮りします。

議案第81号から議案第86号までの6件を、一括して質疑を行いたいと思いま
す。

これに御異議ございませんか。

(「なし」との声あり)

異議なしと認めます。

したがって、6件は一括して質疑を行うことに決定しました。

これから、6件を一括して質疑を行います。

質疑を許します。質疑はありませんか。

(「なし」との声あり)

質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

お諮りします。

議案第81号から議案第86号までの6件を、一括してこれから討論を行います。
これに御異議ございませんか。

(「なし」との声あり)

異議なしと認めます。

したがって、6件を一括して討論を行うことに決定しました。

これから、6件を一括して討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」との声あり)

討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから、議案第81号 令和6年度美郷町国民健康保険事業特別会計補正予算
(第3号)の採決を行います。

この採決は起立によって行います。

本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起立全員)

起立全員であります。

したがって、議案第81号は、原案のとおり可決されました。

続きまして、議案第82号 令和6年度美郷町介護保険事業特別会計補正予算(第
2号)の採決を行います。

この採決は起立によって行います。

本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起立全員)

起立全員であります。

したがって、議案第82号は、原案のとおり可決されました。

続きまして、議案第83号 令和6年度美郷町国民健康保険診療所事業特別会計
補正予算(第2号)の採決を行います。

この採決は起立によって行います。

本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起立全員)

起立全員であります。

したがいまして、議案第83号は、原案のとおり可決されました。
続きまして、議案第84号 令和6年度美郷町国民健康保険病院事業会計補正予算（第3号）の採決を行います。
この採決は起立によって行います。
本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（ 起立全員 ）

起立全員であります。
したがいまして、議案第84号は、原案のとおり可決されました。
続きまして、議案第85号 令和6年度美郷町簡易水道事業会計補正予算（第2号）の採決を行います。
この採決は起立によって行います。
本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（ 起立全員 ）

起立全員であります。
したがいまして、議案第85号は、原案のとおり可決されました。
続きまして、議案第86号 令和6年度美郷町農業集落排水事業会計補正予算（第2号）の採決を行います。
この採決は起立によって行います。
本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（ 起立全員 ）

起立全員であります。
したがいまして、議案第86号は、原案のとおり可決されました。
日程第10 議案第87号 美郷町議会の議員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例
日程第11 議案第88号 町長等の給料及び旅費に関する条例の一部を改正する条例
日程第12 議案第89号 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
日程第13 議案第90号 美郷町第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

お諮りします。
議案第87号から議案第90号までの4件を、一括して質疑を行いたいと思います。

これに御異議ございませんか

（ 「異議なし」との声あり ）

異議なしと認めます。
したがいまして、4件は一括して質疑を行うことに決定しました。

これから4件を一括して質疑を行います。
質疑を許します。質疑はありませんか。

(「なし」との声あり)

質疑なしと認め、これで質疑を終わります。
お諮りします。

議案第87号から議案第90号までの4件を一括して、これから討論を行います。
これに御異議ございませんか。

(「異議なし」との声あり)

異議なしと認めます。
したがって、4件を一括して討論を行うことに決定しました。
これから、4件を一括して討論を行います。
討論はありませんか。

(「なし」との声あり)

討論なしと認め、これで討論を終わります。
これから、議案第87号 美郷町議会の議員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例の採決を行います。
この採決は起立によって行います。
本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起立全員)

起立全員であります。
したがって、議案第87号は、原案のとおり可決されました。
続きまして、議案第88号 町長等の給料及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の採決を行います。
この採決は起立によって行います。
本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起立全員)

起立全員であります。
したがって、議案第88号は、原案のとおり可決されました。
続きまして、議案第89号 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の採決を行います。
この採決は起立によって行います。
本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起立全員)

起立全員であります。

したがいまして、議案第 89 号は、原案のとおり可決されました。

続きまして、議案第 90 号 美郷町第 1 号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁用に関する条例の一部を改正する条例の採決を行います。

この採決は起立によって行います。

本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起立全員)

起立全員であります。

したがいまして、議案第 90 号は、原案のとおり可決されました。

お諮りいたします。

ここで、お手元に配付しておりますとおり議案第 91 号 令和 6 年度美郷町一般会計補正予算（第 8 号）が提出されました。

これを日程に追加し、追加議事日程第 4 の追加 1 として、議題にしたいと思いません。

これに御異議ありませんか。

(「異議なし」との声あり)

異議なしと認めます。

したがいまして、議案第 91 号の 1 件を追加議事日程第 4 の追加 1 として、議題とすることに決定しました。

追加日程を議題とします。

追加日程第 1 議案第 91 号 令和 6 年度美郷町一般会計補正予算（第 8 号）を議題とします。

本案について、町長より提案理由の説明を求めます。

【町長 田中 秀俊】

議長。

【議長 那須 富重】

町長。

【町長 田中 秀俊】

議案第 91 号 令和 6 年度美郷町一般会計補正予算（第 8 号）について、説明申し上げます。

これは、先に上程しました議案第 80 号 美郷町一般会計補正予算（第 7 号）の送致後に明らかになった案件に早急に対応するため、追加して上程させていただくものであります。

補正の内容としましては、漏水による使用量の急増しております 3 つの公共施設の緊急的な漏水調査委託料としまして 99 万円を追加、高校生スクールバスの故障に伴いますスクールバス購入費としまして 480 万円を追加しました。

これらの歳出補正に伴う一般財源の調整額としまして、財政調整基金繰入金 579 万円を歳入追加補正しました。

これにより、歳入歳出予算の総額に、それぞれ579万円を追加し、一般会計の総額はそれぞれ119億7,912万9,000円となりました。
以上で、説明を終わります。

【議長 那須 富重】

町長の提案理由の説明が終わりました。
これから質疑を行います。質疑を許します。
質疑はありませんか。

【1番 若杉 伸児】

議長。

【議長 那須 富重】

1番、若杉 伸児 議員。

【1番 若杉 伸児】

主要事業等説明書説明資料に従って、質問させていただきます。
まず最初の漏水です。
清翠園は別としまして、2つは旧小学校となっております。何らかの理由で水が必要だろうから開けてある、開栓してあるのだろうと思います。他にも町内には様々な旧小学校を含めた使われなくなっている施設がございます。
漏水を防ぐためにためにも必要に応じて開閉、止めたりしているのかどうか伺います。
あともう一点はこのスクールバスです。
古くなったスクールバスの処分の方法をお聞かせください。

【総務課長 甲斐 武彦】

議長。

【議長 那須 富重】

総務課長。

【総務課長 甲斐 武彦】

御質問の旧小学校に使われなくなった建物の管理につきましては、建物の目視等は細かに点検をしています。水道につきましては、小八重小学校の場合、賃貸で入ってる人がいますので、その管理はしております。
ただ、最近、使っていないのにメーターが上がるということで調べました。やはり漏水しており、漏水箇所を特定しないといけないということで今回、上げさせてもらいました。
旧田代小学校につきましては、実際、田代小学校は使用はしていませんが、幼稚園等で放課後の教室などをしております。体育館の横にトイレがあるため、その使用のために開栓しています。今回、漏水を発見いたしまして、その分は閉めて調査をして修繕をしたいと考えております。
やはりおっしゃるとおり時折、開栓をして確認しないといけないと本当、今回感じたところでございます。以上です。

【教育課長 鎌田 次郎】

議長。

【議長 那須 富重】

教育課長。

【教育課長 鎌田 次郎】

続いて、スクールバスの処分の御質問についてお答えをさせていただきたいと思
います。

今回、説明資料にございますとおり11月19日、故障が判明しました。現在利
用者が12名います。今、バス事業の廃止に向けて保護者との意見交換会を行っ
ているところですが、その利用者の安全を守るために10人乗りの車両、それで10
人乗りでこと足りるということで、今回、購入についての要望させていただいたと
ころです。

今回、この購入について御承認をいただけましたら、直ちにこの34人乗りのス
クールバスですが、こちらの処分の手続を行ってまいりたいと思います。

以上です。

【1番 若杉 伸児】

議長。

【議長 那須 富重】

1番、若杉 伸児 議員。

【1番 若杉 伸児】

この上がってるところは問題ないのですが、先ほどから言いますように長期でも
う利用がないだろうと思われる物件はもう止めておくのが一番だと思います。

そこは再度、確認していただきまして、利用する場合に開ければいいでしょう
から、はっきり使用しないところに関しましては、漏水予防、防止のためにも、止
めておいたほうがいいと、私は個人的に考えました。

スクールバスに関しましては、まだ処分方法は決まってないということで、分か
りました。

【議長 那須 富重】

ほかに質疑はありませんか

【4番 兒玉 鋼士】

議長。

【議長 那須 富重】

4番、兒玉 鋼士 議員。

【4番 兒玉 鋼士】

私はスクールバスのことで、お尋ねをいたします。

このスクールバスが、24人乗りから10人乗りのワゴン車になったのはどうい

うことなのか。先ほど説明がありましたが、もう一度よろしくお願ひいたします。
それと緊急的追加議案になったわけですが、もう少し早い時期から分かってなかったのかお聞きします。
それと、いつ頃に新しいバスにされる考えか、伺います。

【教育課長 鎌田 次郎】

議長。

【議長 那須 富重】

教育課長。

【教育課長 鎌田 次郎】

34人乗りのバスが1台と10人乗りのバスで現在、対応しておりました。
利用者が12名です。12名に対してこの34人乗りのバスと、10人乗りのバスと2台で行き先が変わることや帰りのお迎えなどの関係で、遅バス、早バスという2台体制を取っておりました。
平成30年からずっと比較してきてるんですが、利用生徒数が平成30年度は24名ほどおりました。それが令和3年度には16名、令和5年度には9名ということで、かなり加速して利用者の数が減ったところです。
それと併せて、以前より御相談するとおりスクールバス事業の廃止に向けて保護者と丁寧に今、意見交換を行って進めているところです。そういう状況でバスは10人乗りで対応できるという判断をしたところでございます。
それから今回急遽、購入についてのお願ひをさせていただくことになった経緯につきましては、平成24年購入の34人乗りバスはまだ程度としてはいいということでありました。以前は青白のバスがもう一度あったのですが、そちらは25年ほど利用がありましたので、まだこの白バスは使えるだろうということで利用を進めておりました。
それと、もし生徒数が増えたときに、帰りに例えば10人を超えるようになってしまった場合に対応ができないので、大きいバスは1台あったほうがいいということで、このバス事業を続けていたところでありました。
利用者が減ったことと今後の見込みをずっと計算していく中で、今回このお願ひをさせていただいたところでございます。以上です。

【4番 兒玉 鋼士】

議長。

【議長 那須 富重】

4番、兒玉 鋼士 議員。

【4番 兒玉 鋼士】

もう一点、今度、10人乗りで対応できるということで、内容も分かりました。これはいつの時期にどうされるのか。いつからこの10人乗りに変えられるのか。

【教育課長 鎌田 次郎】

議長。

【議長 那須 富重】

教育課長。

【教育課長 鎌田 次郎】

現在は町にあるバスで対応したり、10人乗りを町が所有している分で対応したりしているところなんです。そういったやりくりも非常に大変なので、早く導入を目指すということで今回、追加議案でさせていただいたところです。

3月中に納車ができるように目標として行っています。新年度からは10人乗りで対応できるようにしていきたい考えてます。以上です。

【4番 兒玉 鋼士】

分かりました。

【議長 那須 富重】

ほかに質疑はありませんか。

(「なし」との声あり)

質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

これから、討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」との声あり)

討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから、議案第91号の採決を行います。

この採決は起立によって行います。

本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起立全員)

起立全員であります。

したがって、議案第91号は、原案のとおり可決されました。

日程第14 議員派遣についてを議題といたします。

会議規則第129条第1項の規定により、議員を派遣しようとするときは、議会の議決でこれを決定するとなっております。

本定例会以降、令和7年3月までの議会で派遣する議員につきましては、お手元に配付しました名簿のとおり選任したいと思います。

なお、日時、場所等については、議長に一任願いたいと思いますが、これに御異議はありませんか。

(「異議なし」との声あり)

異議なしと認めます。

したがって、議会で派遣する議員は別紙のとおり選任することに決定しまし

た。

日程第15 閉会中の委員会活動の申出についてを議題といたします。

お手元に配付のとおり、議会運営委員長・総務厚生常任委員長・文教産業常任委員長からそれぞれ申出が提出されております。

お諮りします。

会議規則第75条の規定により、閉会中の調査・研究の申出がありました。申出のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」との声あり)

異議なしと認めます。

よって、閉会中の調査、研究については、申出のとおり決定しました。

ここで、町長から発言の申出がありましたので、これを許します。

【町長 田中 秀俊】

議長。

【議長 那須 富重】

町長。

【町長 田中 秀俊】

それでは、貴重な時間をお借りしまして12月議会定例会のお礼を申し上げます。

この定例会で報告1件、同意2件、追加議案を含めて14件の議案を提案させていただきました。6日から本日までの5日間の日程で慎重に審議いただき、全議案可決をいただきましたことに感謝を申し上げます。一般質問では5名の議員の皆様から質問をいただきました。今後を見据えた中で対応すべき事項ですので、真摯に対応してまいります。

今年を振り返りますと元旦に能登半島地震が発生をいたしまして、日本各地で自然災害により甚大な被害をこうむりました。本町におきましても、一昨年は台風14号が、昨年は6号が、今年は10号が大きな爪痕を残し、町民の皆様にご不便をおかけしているところでございます。一日でも早い復旧に万全を尽くしてまいります。

また、世界中が今もなお混乱と同様、恐怖の中にあるのは間違いないと思っております。国際情勢の不安定さから、食糧問題、エネルギー問題等を引き起こし本町の産業にも多大な影響が生じています。先行き不透明ではありますが、議員各位の御理解を得ながら、農林業・商工業の振興、町民福祉の向上のために必要に応じて対処してまいりたいと思っております。

来る1年が、来る年が平和で安全安心な1年になればと願うばかりです。今年も少なくなりました。この1年、町政運営に御指導、御協力を賜り感謝を申し上げます。

結びに、議員各位の御健勝を御祈念申し上げまして、12月議会定例会のお礼の言葉といたします。ありがとうございました。

【議長 那須 富重】

今日は、これで今年最後の議会となりました。現在、美郷町にも課題が山積して

おります。災害等含めまして、非常に多い課題があります。年明けてもまた忙しくなるかと思えますけれども、執行部の皆様、議員の皆様方には体調管理にはしっかりと留意をしていただいで、また臨んでいただければと思います。

これで、本日の日程は、全部終了しました。

会議を閉じます。

以上をもちまして、令和6年第4回美郷町議会定例会を閉会いたします。

【事務局長 沖田 修一】

「一同・起立・礼」・・・お疲れさまでした・・・。

(閉会：午後3時36分)